[illegible] 時間表 (南行) [illegible]

京城日報

(年中無休刊)

本紙定價 一部參錢 一箇月七十五錢 ▲郵稅 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
電話番號 長六千九番 振替京城三〇〇番

七月六日夕刊 (朝刊併せて八頁)

支那は國際上困難の立場に陷れり

調印拒絕問題＝段祺瑞氏談

段祺瑞氏は來訪せる某日本人に對し支那講和委員の對獨講和條約調印拒絕に就き語つて曰く『余は講和條約に調印す可しとの議論にして屢々北京政府に對し忠告せる所なるが巴里支那講和委員等は遂に條約調印を拒絕せりとの報に接し驚愕せり支那は此無謀なる擧に由りて國際上孤立の地位となり頗る困難なる立場に陷れりと言はざる可らず今後如何なる善後策を講ず可きや全く方策無しと云ふ可し二日總統府會議にては調印を拒絕せる支那委員等の責任を問ひ相當の處分を爲す可く決議せるが其他の方法に就いては未だ何等決定し居らず元來民黨の人物は議論空疎に巧なるも實績を擧ぐる能はざる輩なるが民黨成立以來余が苦き經驗に徵すれば今回の暴擧は民黨側の人に依りて成されたる事明かなり即ち駐佛公使胡維德駐伊公使王廣圻駐蘭公使戚陳霖等は專ら調印を主張するも民黨側委員顧維鈞王正廷等が調印を遮りたるもの、如し』と(北京電報)

調印拒絕と列國

支那講和委員調印拒絕問題は事極めて重大にして右に就き列國委員の間に意見の交換を爲したるも二日迄には尚具體的決定を見るに至らざりき(巴里電報)

支那委員非難

支那識者階級に於ては支那講和委員が對獨講和條約の調印を拒絕せる結果支那の蒙る不利益甚大なると其善後策の困難なるを說き支那委員等の過れる措置を非難する聲頻じつゝあり(北京電報)

支那紙の悲觀論

支那諸新聞は委員對獨講和條約調印拒絕の報達するや南方人士間に著るしく不滿の狀態を呈しつゝあるは注目に値す尚支那新聞の論調は支那委員の專行を喜ばず殆んど何れも不言不語の間に支那の國際的孤立に就き不安を感じつゝあり尚新聞の報道に據れば支那委員の調印拒絕は對獨宣戰布告以來の支那人の希望を悉く一場の夢と爲し終れり今後宜しく國民は一致團結以て自ら救ふの途を講ずるの外無かる可し若し徒らに議論空辯を弄せんか恐らくば外交上の憂患は吾人の豫想以上ならん蓋し此際國民自ら濟ふの策あらずんば國家の爲眞に絕望の外無から可しと切論せり(上海電報)

十人會議組織

四國會議に代りて

英國首相ロイド、ジヨージ、米國大統領ウイルソン兩氏が巴里を去りたる後に於ける講和會議は從來の四國會議に代り日、英、佛、米、伊の五大國より各二名宛の委員を出し新に十人會議を組織し之を會議の中心と爲す可し而して十人會議に列す可き各國委員左の如し(巴里電報)

日本牧野伸顯男、珍田捨巳子、英國バルフオアー氏、ミルナ氏、佛國クレマンソー氏、ピション氏、米國ランシング氏、ハウス大佐、伊國チツトリン氏、マルコニー氏

獨艦自沈問題

三大國會議の決議

三大國會議は獨艦自沈及び伯林に於て佛國々旗を燒却したる事件に就き相當刑罰を課すべく決議したるが右に就きては金錢上の賠償を要求せざる可しと信ぜられつゝあり(巴里電報)

佛米水兵大衝突

佛國ブレスト港にて佛米兩國水兵の間に大衝突あり多數の負傷者を出し同地に戒嚴令布告さる(巴里電報)

西伯利方面情勢

陸軍省公表

西伯利方面の情勢に就き左の通陸軍省より公表あり(東京電報)

一、滿洲里方面　第七師團は昨夏以來北滿洲に出動中なりしが第十六師團新に南滿洲に派遣せらるゝや此の一部は北滿洲に派遣せられ(少將福原佳哉步兵第十九旅團步兵第十八聯隊を缺く騎兵中隊)に其の守備を讓り五月十五日迄に其衛戍地に歸還し該派遣部隊は四月二十四日所命の地に到着し現に浦鹽派遣軍司令官の隷下に在りて行動中にて此方面の秩序は依然良好に保留しつゝあり

二、ザバイカル方面　ザバイカル方面の過激派はネルチンスクオダト附近を根據として其數四千に達せると報ぜらるも同方面の治安維持に任ぜる我三師團の嚴然たる威武と該師團の後援に依れるセミヨノフ以下の聯隊の連接維持軍に依りて未だ鐵道沿線を侵す機會なくして此方面の狀態は依然形勢を持續し良民は其の業に安んじつゝあり

三、黑龍州方面　我第十二師團十四師團の交替にて黑龍州方面の過激派は十二師團の討伐により一時其の跡を潜めたるも春季に至り逐次其の勢力を恢復し良民の被害頻出するの狀況を呈せるを以て第十二師團長は軍の計畫に基き其の歸還輸送實施前約一箇月の歲月を利用して之れが掃討を斷行するに決し師團を三分し討伐區域を配分せり時恰も溶雪の期に當り諸川氾濫し滿野泥濘行動る困難を極めしも師團將卒よく困苦に堪へ隱顯出沒常なき敵を攻擊し良民を安んぜしめ其極敵を潰走せしめたり六月下旬に至り第十二師團は其の守備を第十四師團に讓り歸還せり

四、沿海州方面　並に第五師團の一部を派遣南部沿海州方面の過激派は近時各地に蜂起し其の數四五千に達すと稱せらる兵備又相當に整頓し居れるが如く各地に於て其の危害絕ゆる事なき有様にて我守備隊の勇戰奮鬪に依り大事に至らざらしむるも之が爲我軍亦多少の損害を出だし五月下旬以來各方面に於ける死傷將卒四十に達せり狀況斯の如きを以て此の方面に於ては我部隊は諸方面に出動破壞せられたる交通補修等に忙殺せられ殆ど寧日なく地方の人心又一時穩を乏ふの情切なる者あるに鑑み茲に將來第三師團と交替せしむべく十五師團より取敢ず步兵旅團騎兵工兵一中隊を浦鹽に派遣せしめ此の部隊は出動準備既に成り七月二日其の先發部隊は內地を出發せり又曩に北滿洲派遣に伴ひ十六師團に編入せられたる步兵九聯隊四中隊は浦鹽に上陸浦鹽軍司令官隷下に服し同地方の守備に任じつゝあり

陳代理辭職原因

二日午後四時在北京英國公使ジヨルダン氏は電話にて錢總理代理に對し支那が講和條約に署名せざりし理由如何又支那政府は何時在巴里代表に署名差し止めを命ぜる電報を發したるかと質問せり錢總理は大ひに狼狽して直ちに徐總統に右の趣報告し午後七時より總統府に會議を開きたる結果外交總長代理陳錄氏は遂に責を引いて辭職せり(上海電報)

公侯意見交換

山縣公は三日大隈侯を訪ひ病中見舞の辭を述べ時局に就き懇談せるが大隈侯は五日午前九時山縣公を訪ひ約二時間會談せり之れ公の來訪に對する答禮の爲なる可きも時局問題に關し意見交換ありし事勿論なる可しと傳へらる(東京特電)

持地長官訓令

持地遞信局長官は四日附遞信部內に對し左の如き訓令を發したり

遞信事業は社會の進步發達に伴ひ隨つて其の設備を變更改善するの要あるを以て當局は常に鋭意之に對應する計策を施すと雖ども歐洲戰亂以後一般經濟界の異常なる好調は各種事業の勃興を促進し通信に海事に在ては何れも急激に發展して遞信事務は益膨脹の氣運にあり殊に通信事務に在りては客年八月政府の西伯利及滿洲方面派兵の擧あるや朝鮮は地理的關係上內地と同方面との通信中繼の位置を占むるを以て軍事通信及之に伴ふ通信事務增加し [illegible] 取扱數は前年度に比し [illegible] 通常郵便引受一割五分一厘小包郵便引受二割四分一厘電報發信三割五分八厘 [illegible] 電話通話市內一割五分市外一割七分八厘を增加し通信收入に於ては一割二分三厘の增收を見たり [illegible] 李太王殿下の薨去及び御葬儀 [illegible] 次いで騷擾事件の勃發等は一層遞信事務に [illegible] 騷擾事件の如きは忽ちにして各道に波及し時に暴民の爲に我遞信機關を阻害せらるゝあり而して日夜非常警戒に努めたる等各員の勤勞多大なるものありしに [illegible] 大過なきを得たるは本官の深く欣幸とする所なり [illegible] 物價騰貴に次ぐに騰貴を以てし [illegible] 各員の [illegible] を諒察し上下一般協戮するに非らされば到底良果を收め難きは論を俟たざる所なり各員宜しく本官の意思を體し自今益精勵努力以て事業の圓滿なる進行を圖り邦家に貢獻する所なかるべからず

公衆との關係

遞信業務に從事する者の公衆に接するに當りては人種の異同を問はず身分の貴賤を論ぜず老若男女の別なく何人に對しても懇切丁寧を旨とし [illegible] 公衆をして [illegible] 我機關を利用せしむるこそ可なれ [illegible] 朝鮮人に [illegible] 國語を解せざる者多き [illegible] 朝鮮語を學び [illegible] 各員の自覺 [illegible] きを信ず(未完)

支那益々紛糾せん

長江一帶の排日＝共産主義の宣傳＝第四革命近からん　東洋益々多事

陸軍少將　山田陸槌氏談

上海を振り出しに長江一帶を踏破し更に北京天津山東滿洲等を歷遊中なりし陸軍無線電信調査委員長山田陸槌少將は六日朝六時五十分着列車にて來城したるがその談に曰く予が南支那視察中は恰も排日の烽火猛然として起り最も熾烈を極めたる際にて

身邊の危險

を感じたる事も尠からず上海を振り出しに長江一帶に亙りて各地の排日は頗る猛烈にして一時は上海に於て驚徒の一團が自動車を走らせ各商店を脅かしては門戶を閉鎖せしめつゝあるを目擊したるが彼等の脅迫は巧に成功して僅々半日の間に殆んど全上海に亙り一軒として店を閉さゞるは無く其の翌日の如きは市場まで閉鎖せしむるに至れり、某々國人の如きは我初の中こそ

日貨排斥を

喜ぶ如き [illegible] 其の間過激派主義の色彩加はり漸次濃厚となるや租界內に於て學生が集會を催すが如き事ありたる場合には直ちに解散を命ずる等益々 [illegible]

長江一帶に

亙りて各地の排日は日本人に對する監視を怠らず其の後日貨排斥の火の手は漸く擴大し一躍上海に止らず長江一帶に亙りて倉庫の苦力にまで波及し日本人及び日本人に雇はれたる人夫及苦力は貨物の取扱を拒み或は不當の賃銀を要求する等愈々險惡を呈し引續き當地支那人は一齊に申し合せ日本船に對し荷物を搭載せざるのみか船客たらざる事を誓ひたる結果最も打擊を受けたるは日清汽船會社にして同社の汽船の如きは

貨客共皆無

の狀態に陷りたり又漢口の如きは非常の苦境に陷りたり、又英國人經營のバタビールも其の余波を受けたる漢口の我銀行の如きは何時取付けに會ふやら圖られざるを以て萬一の用意に上海より銀貨を取寄せむとしたるも輸送の途全く杜絶したるを以て何ともする能はず何れも變色をせざるは無く、幸ひに取付け騷ぎも無く濟みたるやう [illegible] 排日熱は稍下火になりつゝある是れに反して

共産主義の

危險思想は漸々として瀰漫し支那各地 [illegible]

上海には露國過激派が入り込み多大の資金と過激的印刷物を頒布し過激思想の宣傳に努しつゝある時を見て各地に於て耳にしたるが或は事實なるべし、彼等は上海を根據として各地に [illegible] 使嗾し或は國賊、曹汝霖、章宗祥等を誅せよと煽動し [illegible] の排日の學生團が紙幟を使嗾して各商家を閉鎖せしめたる如き、或は [illegible] 日貨排斥を名として各商家を [illegible] 要求して中央政府を脅かしたるが如きは明かに過激派が我が勢力を試みたるものと云ふべし既に是等に成功したる以上何事も我手に行はんと傲語し自恣放逸の行動を執り跳梁を極むるは云ふを待たず予が觀測する處に依れば支那の將來は益々紛糾して遂に第四の革命を勃發すべきか、若し夫れ支那が全支一帶を風靡する處なきにも非ず、其時こそ支那が露國の二の舞を演ずる時なり、今後東洋は益々事多し我々日本人は晏如たる能はざる也云々

輕鐵未成線概觀

七線＝一千六百哩に上る

二の下

兩江拓林線

本線は渡邊嘉一氏外十三名の企畫に係はる兩江拓林鐵道株式會社資本金一千五百萬圓の計畫線にして(一)清會線の古茂山驛より茂山を經て合水に至る間(二)成北吉州より惠山鎭に至る間二百五哩たり

本線は [illegible] むるの効果大なるものあり況んや輕鐵事業の如き鐵道幹線の培養に著大なる効果を有するものあるおやこれを以て政府は曩に輕鐵補助案を提出協贊を得ると共に金融の利便を圖るがため朝鮮財團抵當令の制定實施をなしたり

當局の奬勵

朝鮮總督府に於ける今後十年間の補助額は大約一千百二十四萬圓を要すといふ按ずるに朝鮮に於ける輕鐵の未開通線は前述の如く大約一千六百哩にして之れに要する工費總額は七千萬圓を算すべく之れによる各銀の撤布企業材料の需要等と相俟つて關係地方の金融界に及ぼすべき好影響は多大なるべし要は幹支線及び各地市場間の連絡を保持し之れが設備の完全を圖ると共に運賃の低減と輸送力の增大を期するにあ

輕鐵普及効果

要するに交通機關の整備は(一)輸送力の增大(二)運送日數の短縮(三)運賃の低減(四)荷傷みの減少等を與へ從つて地方産業の開發及び取引の增大を促進す殊に金融の疏通及び資金の集散を敏活ならしむると共に物價の均衡を得せしらん(完)

江沿岸惠山鎭附近の森林(三)は輸出製紙用原料パルプ製造の外一般貨客運輸事業經營の計畫なり

遞信雇傭人の救濟會計畫

朝鮮總督府遞信局にては雇傭人の救濟を目的とする救濟會組織の議あり目下主務課に於て開始に關する調査研究を進めつゝあるが右に就て

某當局曰く

本局に於ては夙に雇傭人救濟を目的とする機關を新設したしと考へ居りしも時運未だ至らず今日に及び居れり而して現に此種の機關は尨大なる官業にして多數の雇傭人を使用せる方面に於て多く設けられ何れも相當の成果を收めつゝあり現に遞信省の救濟會の如きその加入人員は四萬人を超え七年度の收支を見るに收入四十二萬七千圓支出三十七萬七千圓を示し差引五萬圓を剩し居れるが收入は會員の掛金(月收の極めて小部分)並に政府の補助金にて成立しその割合は掛金の一に對し政府の補助は概ね二倍の率を示し居るに倣たり支出は

會員の不幸

死亡疾病等の場合適當に之れを支給し退職の場合には掛金に對し五分の利を附して拂戾し一人にして數千圓を得るものもあり殊に騷擾上の死亡に對しては巨額の支 [illegible]

仁川殖銀活躍

倉庫會社連絡

遞信局雇傭人救濟機關も忽諸に附し難し

仁川に於ける殖産銀行支店は新設以來尚ほ二箇月を閱するに過ぎざるも頻りに活動を繼け殊に仁川取引所の殆ど唯一の取引銀行となり久しき間關係密接なりし百卅銀行仁川支店のお株を奪いたるが近く第一回拂込みを徵し創立總會を開かんとする仁川倉庫株式會社は事業の性質上仁川取引所と密接の關係あり寧ろ姉妹的地位にあるため旁殖銀と新倉庫會社とは極めて密接の關係を保持すべく銀行側と會社側の了解ある如し從つて仁川の散在倉庫を統一する新倉庫會社の發行せる證券に對して殖銀に於て特に低利の資金を融通し又會社にて金融を開始するに至らば殖銀は親銀行たり更に再び擔保貸出しの要求に應ずるもの、如きが此方面に於ける殖銀の活動顯著となり倉庫會社の連絡緊密を加ふるに至らば他銀行にとり相當の打擊なるべしとか(仁川某有力者談)

支那へ特使派遣か

帝國政府にては山東問題細目商議及び日支間關係改善の爲め特派大使を支那派遣に就ての內議ありと傳へらる(東京特電)

京城現株氣配

去る三日暴騰したる大阪株式は四日後場に至り三五圓方の反落を告げ五日前場も亦昨紙所報の如く一般に二三圓安に寄付きしが中廻り後に至り稍持直したるもの、如く引値は寄付に比し大株四圓三十錢高郵船一圓九十錢高新二圓四十錢高商船七十錢高新三十錢鐘紡新二圓九十錢高に止めたる由にて後氣配強硬の報を入れ當地現物も概して氣強き唱へなるが如く、一昨日暴騰したる東拓の如きも本社人氣は親八十六圓新四十六圓五十錢と殆ど前値に引返し居るも某店人氣に依れば親九十圓五十錢新五十五圓と報じ依然强硬を持續せるもの、如く、滿鐵も

第一新百四十九圓五十錢第二新百十三圓を唱へ南滿製糖は四十一圓となれり又二三日來保合へる

仁取株

は百五十七八圓の安値は五六百の買望みあれども手持は六十圓以下にては賣應ぜず小口の商內は六十一圓より二圓迄四五十枚ありたる模樣なり又

殖銀株

は徐々好人氣にて五十二圓五十錢となり尙新に生れたる

仁川倉庫

は權利の買望み弗々現はれ六日の如き日曜にも拘らずプレミアム七圓より七圓五十錢を附し九圓五十錢乃至十圓にて二百枚の商內ありたり

京城正米閑散

六日の京城正米は仁川期米の保合へると雨天の爲仲買人の出市を見ざると依り商內皆無の狀態なるが鮮人筋の思惑依然衰へざる爲め內地水害の程度如何に依りては多少の氣丈を唱ふるに非ずやと觀測されつゝあり然れども此の雨季を經過せんか豐富なる思惑貯藏米も變質を免れざれば之等の投げ物氣構へに高値は買躊躇の氣味ありと

馬匹檢査

軍司令部副官原田砲兵大尉富岡獸醫部長は倉庫病院要塞司令部等の馬匹檢査を命ぜられ六日出發羅南、會寧、永興地方に出張し十五日頃歸著すべしと

山田少將動靜

六日入城の山田陸槌少將は午前中字部宮軍司令官淨法寺師團長大野軍參謀長等を歷訪したる後朝鮮ホテルに入り少憩後更に山縣政務總監兒島警務總長等を訪問したり七日は無線電信所を精察し九日出發の豫定を變更し八日夜七時五十分發列車にて退城歸京の途に就くべしと

○趙子爵令息東上　子爵趙重應令息陸軍步兵少尉大鎬氏は [illegible]

○田中殿務課長出發　米國並に加奈陀視察の途に上れる總督府殿務課長田中卯三氏は五日夜十時五十分南大門發列車にて出發したるが停車場には小原長官始め總督府、京畿道、警務總監部等より多數の見送りありたり

己の病氣治療と子爵今回の重患看護を兼ね歸城中の處七日午前十時南大門驛發東上する由

人事消息

▲山田陸軍少將　六日朝入城朝鮮ホテルへ

▲吉植庄三氏(東拓哈爾賓支店長)　同上不知火へ

八面鋒

◆調印が終り各國委員がソロ〳〵引揚ると共に氣相漸く變化せしは國俠の悠々閑々編す

◆五頭會議が急に四頭會議と

◆通譯付にては會議進行に邪魔なりと除外せられたるは奇怪

◆然れども不禮呼ばりも自己を顧よ要は我人選を誤しに因

◆暴露と云へば支那調印拒絕の理由は某外人の煽動に依ると

◆北京電報は傳へしが在佛委員等が外人の論調に徵するもと

◆云へるに見ても這間の消息を窺ふに足る某外人とは抑も誰

◆煽動を爲は個人の勝手也然れ共其に乘るは愚の甚た敗者由

◆南支方面の排日と云ひ調印拒絕と云ひ恐く其陰には煽動者

◆煽動と無責任を以て手腕となす支那政治家が此の態は滑稽

◆某外人の煽動が一枚上也以夷制夷も袁世凱の他妙用を不知

◆戰後の歐洲文明は將に一頓挫を來せるもの、如く惨憺を極

◆歡びの裏に涙有祝福の聲尚る時其處に悲哀の叫あるを知や

◆羅馬は數度の戰に依て國家の財力減じ又羅人の家庭は素亂

◆遂に國家の基礎崩壞するの悲慘を極めたるは歷史之を證す

◆今次の大戰六百八十萬の死者と五百萬の重輕傷者を出せり

◆不具者は前途を悲觀して寧ろ我を殺せと政府に哀願する在

◆兵士の妻の如きに至つては其墮落質に言語道斷の極に達し

◆數年間女に飢たる出征兵士は歸來すれば家庭紊亂見に不堪

◆憤怒と生活難は遠慮なく彼等をして遂に自暴自棄に陷しむ

◆斯て家庭の基礎は物質的にも精神的にも大なる打擊を受け

◆歐洲の文明は一大危機に遭遇し更に戰費上に見るに這も亦

◆敵味方合して百三十萬億圓の巨額に達し財政上にも大恐慌

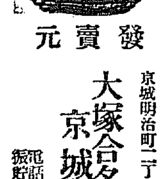
◆彼等が更に祝酒より醒むる時其處に再び沈痛の叫びあらん

◆精神の動搖に乘ぜんとする過激派の狙ふ處彼等牙爪を磨

◆見よ階級戰の勝敗如何世界を破壞する者は戰ひ耳ならんや

◆誰か世界に平和來を云ふ [illegible]

醇美清酒



發賣元

京城明治町二丁目

大塚合名會社京城支店

電話四〇一番 振替京城五七〇

●滿鮮支店所在地　釜山、平壤、安東縣、大連

●到る處酒店雜貨店に販賣せり

眼鏡類一式 寒暖計 ワシントン萬年筆 美術サック類 貴金屬製品

卸商 宮川大學堂

京城南大門通一丁目 電話長二九五九番 振替京城壹壹二九

旅行具專業の 岩田鞄店

本町二丁目 (電話五九四番)

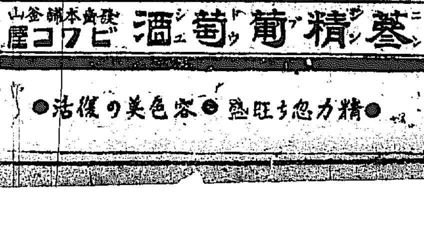
仁川松板町

京城電氣株式會社 仁川支店

電話二一四番

長壽健康の家庭は圓滿也

旗印



蔘精葡萄酒　發賣本舖 釜山 ビフコ屋

●精力忽ち旺盛●容色美の復活●

エーアイ塗料販賣

△エーアイ塗料用途　壁、天井、ドアー、窓枠、欄板、瓦、石、セメント、モータル、木材、金屬、ボイラー、煙突、ペンキ下塗等

△エーアイ塗料の特徵　耐水性甚大にて風雨其他に對する抵抗力極めて强く決して剝落の虞なく [illegible] 熱性大なるを以て [illegible] 經濟的なること他に類なし

△朝鮮總督府中央試驗所に於て研究の結果發明せられたる [illegible] 朝鮮總督府中央試驗所指定品

朝鮮一手販賣元

石炭商 西崎商會

京城太平通り二丁目

電話七二七番 [illegible]

問題の前獨太子
世界注視の中を故國へ脱走
獨逸の民心は皇帝を離れて居らぬ

愈々講和が成立したが今度はカイゼルの處分は何うなるかと世界中の眸が彼の姿に注がれて居る處へ、和蘭にゐた前皇太子が
獨逸に逃げ戻つたと云ふ電報が來た外に次いで三日ワイリンゲンに滯在すべしとの誓約を廢したとも傳へて來た。これに就て某外交通は語る『前太子が獨逸に逃げ戻つたと云ふことは、それは別段問題にする程の出來事では無いこれが前皇帝及皇太子を聯合國が裁判せんとする時に逃げ歩いて出ないならば
兎に角問題が其處迄行かぬ以上先づ憾るが儘にさすることこそ彼に對する人間的同情であらう又た獨逸人の心情として我々がカイゼルに對して嫌忌する如くに憎みもしなければ、恨みでもない這回の戰爭は單に皇帝のみに依つて開かれたのでは無く實際に於ては寧ろ國民全體が戰ふか自滅かと云ふ自國に對する日頃の
抱懷を發露したものであるから國民の大多數としては憎惡所か非常なる敬意と同情こそ持つてゐるであらうと思ふ
獨逸國民の心は決して皇帝を離れては居らぬ皇太子が歸國したのも此逆の一節と謂ふならう如何に戰ひは勝つ、彼の國の總ては征服したが彼等の心迄は支配する事が出來ない聯合國では
戰爭の責任をカイゼル一人に負はして國民は決して罪を其一人に着せようとしないのだから理性上に立つて自帝の引渡しを反對し彼等を擁護してゐるのである勿論彼等は君の爲でない一に冷靜なる理性に訴へて事をしてゐるのだ』と

支那委員の調印拒絶
裏には裏が

非今日本の眞意を同く諒解が出來し事なく調印こ豫想されたものがごたん場になつて俄に逃げ出した
支那の外交には表面がある——副使の顧維鈞王正廷の兩君は共に卅六七歳の青年外交家で米國出身の南方派だが此の御兩人近頃出先の巴里で喧嘩をおつ始め其の喧嘩が今度の調印に祟りをしたらしい形跡の見ゆるのは面白い、さいふのは顧さんの細君は美人の聲高き
唐紹儀の娘さんであつたが先頃永別の悲運に會ひ爾來空閨を喞つうち最近北方派の驍將曹汝霖氏の娘と婚約成立の噂が、亞細亞の大陸を飛ぶ樣に巴里の巷に傳はることこれを耳にした王さん怒るまいことか道理こそ近頃顧君が何かにつけて北京政府の肩を持つと力味返つた然も夫は噂だけの虛報と判明に入の間も撚が戻つて其後は
顧さん以前にも增して南方に力を入れだした何しろ名だゝる辯舌の雄、その上米國仕込みとして萬一の時はウイルソンが後楯と頼む處もあるかして盛んに山東問題を力說し調印反對に心血を注いだらしい所詮大使はお人好しかと思へば蠻カラ、卑屈かと見ると卻々大膽な事を仕出かすこの突飛性が
拒絶を手繰つた糸緒——超君など內幕役者の勢力も滿更影響がなくはなかつたらうとは支外交通の觀測談である

日出小學校創立三十周年記念式
（右）式場に於ける生徒（左）河本校長の式辭

貨車自動航漕船
日本では未だ新しき試み
愈々十日から作業開始の豫定

二隻で關門間の貨車輸送に從事する

關門貨車自動航漕船第一及第二關門丸は二日午後二時半無事下關港着第一關門丸は竹崎航漕棧橋に第二關門丸は鐵道棧橋沖に繫留せるが播濟より……航日數は十日を要し船員の疲勞もあり
四日は慰勞の爲め船員に休養を與へ五日船體及び機關部の檢査をなし七日午前十時より試運轉を行ふ筈なるが先づ下關竹崎より小森江航漕場に向ひ午後三時より更に小森江に於て試運轉をなし八日實際に貨車を積卸し假運轉をなし九日船體機關の手入れ十日午前凡ての準備が整へ午後二時に至る間希望者の觀覽を許可して午後二時より愈々
作業を開始する豫定なるが同船は鐵道院よりは山本技師門司管理局より加藤船舶係長出張し下準備をなしつゝあり同船は長さ百七十呎噸數四百六十噸速力十浬二にして船の前後なく何れの方向にも運航し得らるゝ特長ありその構造等は我が國に於て未だ曾て試みられざる全く新しきものにて兩船とも同じ構造にて船上には貨車
七輛を積載し交互に下關小森江間を運航し一往復に約一時間を要すべしとのことなるも實際運轉し見るに非ざれば往復に要する時間不明なりとされに就き津田下關船舶課長は語る『現在の航漕船は貨車三輛を乘せ汽艇に曳船され運航してゐるが航漕船の數は五隻で日に平均三百六十車往復してゐる勘定であるが之こて風波の際は運航中止になるが今回來た自動貨車航漕船は
風には弱いが關門間の波には充分耐へらるゝので大概の天候なら運航差支なく夫に運航の時間も短縮し一時に七車輛を積むから隻數に於ては少いが輸送の能率は增進するだらうと思つてゐる然し實際は作業をして見ないと分らず航漕場との接續具合など旨く行かぬ時には幾分改良することがあるかも知れない』と（下關）

伊首相來朝せん
多年日本に憧憬して居た人
伊太利國民の對日好感

伊國總理大臣ニッチ氏は非常に
日本に好意を持ち休戰の際の如きも當時ネープルスにあつた我軍艦出雲を訪ひ兩國親善の爲め懇談を交した事があつた其際氏は日本食を馳走されて非常に喜んだこの事である同氏は多年日本に憧憬を持つて居つて明春來朝するさうである伊國は講和會議でも終始日本の態度に尊敬を拂ひ例の伊國
脫退の當時は市民は米大使館の前に群がりウイルソン大統領を罵倒し次いで日本大使館の前に來て萬歲を唱へ日本に對しては頗る好意を表して居るこ歸朝した某氏は語つた

歸鄕朝鮮學生の言動

明治大學の卒業者全羅南道谷城邑內明治大學生丁秀泰は卒業試驗を終へ先月二十三日歸宅せしが其言動に就き其筋の報告を聞くに左の如し（一）谷城の人々は世の趨勢を辨へずと稱し暗に其叔父丁日宅が郡廳に反感を懷き反抗的態度に出でつゝあるを遺せるものゝ如し（二）先般內地に行きし時は總務の旅行證明書を受けたる爲め萬事好都合なりしも爾後の歸鄕に際しては危險を感じ同行者と共に保護を願ひしたり（三）道間谷城の守備兵が南原に引揚げたるに際しては內鮮人が守備兵に便宜を與へたる由なるも自分等は不在にて不行屆なりしに依り慰問の爲めとて丁日宅なる者と兩人にて金貳拾圓宛を郡廳に提供したり（四）守備兵は騷擾鎭撫の爲め內地より特に派遣せられ我等鮮人保護の任に當りたるものなれば感謝せざるべからずこて引揚當日は見送りを爲して謝意を表せり（五）道間の言動は總督政治が惡政なりし爲めに起りたるに非ず講和會議其他を機として獨立を主唱するに至りたること明かなれば假りに朝鮮が獨立し得たりとするも今日以上の善政を布き得べしとは信ずる能はず此際內鮮人の融和一致を圖ること第一義なりと語り內地人に接近を希め居れり

見學團
延期に就て

第三回婦人見學團は六日擧行の筈でありましたが折惡く雨天の爲八日に延期する事となりましたのは洵に殘念です而し乍ら之れも天候の事であるから人力では致方ない次第であります八日の天氣は何うか係の者は頻りに心痛致して居ますが見學地が早學地丈けに何にも今日明日こ期日を急ぐ必要がありませぬので天氣を待つて充分見學する積でありますが關係諸子のお待ち兼ねになつて居る處は係り員も存じて居ます而し水源地を視察して漢江を鷺梁津迄船で下るのであるますから漢江に出水すれば如何に天氣が好くても危險があるかも知れませぬから更に延期する事があるかも知れませぬ若し延期しました處で第三回見學團は決して中止しませぬと同時に其他のより以上有益になる處を見學する計畫であります其の時は更に社告を以てお知らせ致します申込の會員中八日の見學團に參加出來お差閊へがあつて御參加出來ませぬ方は至急ハガキで係員迄お知らせを願います

市內出水
六日の豪雨にて

六日朝の豪雨にて市內各所に出水を見たるが本町署管內には午前中迄は被害箇所なく鍾路署管內にては左の各所に床下浸水家屋を出だせり、安洞百戶位、積善洞四戶、昌信洞五戶、鍾路六丁目七戶、鄕染洞五戶、冷洞三戶、鍾路三丁目十一戶、仁寺洞二十三戶

降雨毎に出水した清溪川
本年は出水せず

市の中央を流るゝ清溪川は河床の淺いのに加へて兩岸の道路 家並が低い爲めに例年此頃の雨期に入ると度々出水氾濫を見、其都度多少の被害は免れなかつたが、今年は恰も故李太王殿下の國葬當時河床を掘下げ、同時に兩側の家並も約三尺ほど高くしたので五日來の雨にも浸水家屋を見なかつたが
道路は相變らず低く其上に凸凹が多いので一旦浸水の場合には甚だ不安で且危險が作なひ易いから兩側の道路は成るべく早く改修を施して欲しいものである。

山陽方面大出水
未曾有の慘狀を呈す

廣島來電＝連日の降雨四日に至り愈々激しく廣島縣下は各郡を通じて諸川大出水こなり田畑を洗ひ家屋を倒し道路は水中に埋沒し人畜の死傷至る所に及び損害數ふるに遑なく數十年來嘗て見ざる大慘狀を呈せり（下關特電）

客は何れも岡山に滯在せり又山陽線々路の浸水箇所は六日未明迄に全部復舊の見込みにて關釜

全市浸水す
福山市の慘狀

福山來電＝福山市附近一帶は各河川氾濫し家屋を流し濁流田畑に漲り四日午後に至り福山市全部浸水したり（下關特電）

山陽線復舊
六日未明迄に

五日午後四時五十九分神戶發下關直行特別急行列車は福山驛附近にて土砂に乘上げ運轉不可能となり直ちに復舊工事に着手したれば五日中に開通の筈なりしも四日午前八時半より下關行特別急行列車は總て岡山驛迄尚其他の下り列車は總て笹岡迄運轉せるより九州、朝鮮、滿洲方面への旅

間の連絡も六日に至り復舊すべし（下關特電）

金剛山見物記（三）
尋由師のヒヤ〳〵させる冒險

普賢彌陀の靈光に浴する事が終遂い
こみ立て、寢室より十間こ離れぬ長安寺大雄寶殿に未明より起る僧侶勤行の聲も、ガーン〳〵ヨツ〳〵と響く鐘聲、木魚の音にも心眼醒めず、やつと起床したのが七時半、昨夜約束しておいた出發時刻に遲るゝ事正に三十分、入山第一に失敗の榮冠を戴いては相濟まぬと飛起れば、そこはそれ、名にし負ふ長安寺の靈地、以心傳心も、自力他力の本願も通ずる所、尋由師御慈悲の光に浴し過ぎて、六時迄は無言の業態、今トロ〳〵と華胥の國へ遊んだ所だと安心、此邊の呼吸の靈詞不思議さ善きにも惡しきにも平等に照らし給ふ彌陀の心ぞ有難かる次第なりけり前夜の雨で水嵩增し、路も石も滑りよくなつてゐるのに加へて、入山の第一日前後左右鬱蒼極まりなき景趣に見惚れて、首根つこの廻轉運動に氣を取られ、天下無比なご頌歌に浴に辷つて、ゲートルの洗濯をやる、水明鏡臺、靈源庵の見物を終へて、水簾洞へ行く、案內子の說明役に入り細な穿ちて、洞上洞穴ある事迄饒舌る、冒險好きの尋由師、早速平滑な岩上をいてい、ステッキの先端で水中探索を始めたが、平日の減水時さ異つて今日は向ふ迄行かぬこ、ステッキが屆かぬらしい、所が此洞上足を一寸でも辷らしたら、水簾湖の御伴をせねば相濟まぬ、然も師は蠶禪一番エイさ許り流水を飛越ねて、ヨツ〳〵と洞穴を鎖してゐる、其周圍の鮮かさ、門徒衆に見せたら、思はず南無阿彌陀佛を稱ふるなるべし（續）

廣島呉兩市
溺死者を出す

（下關特電）中國地方は一日以來の豪雨出水に加ふるに四日の猛雨にて各河川氾濫被害續出し廣島市に於ては溺死者四名を出だし又呉市にては豐田郡別莊の石垣崩壞し死傷者七名を出し交通杜絕せり（廣島電報）

鎭南浦地方
浸水數百戶

鎭南浦地方は六日午前一時頃より引續き降雨あり碑石里等の浸水家屋數百戶に及べり（鎭南浦特電）

青島の獨人財產
私有財產は總計一千萬圓以上
我國には心から感謝して居る

日支問題の焦點たる青島の民政部總務から今度東拓理事に轉任した夏秋十郎氏は財產管理令に伴なふ青島獨逸人の私有財產及び彼等の近狀に就いて次の如く語つた『青島
在住の獨逸人は約三百五十人で何れも皆非戰鬪員のみで今日まで獨亞銀行の預金を融通して辛うじて生活して居り預金のない者も宣敎師數名の世話で兎に角不自由なしに暮してゐる今回の管理令によつて管理される彼等の私有財產は總計一千萬圓以上に上る見込で之と共に先に我軍によつて發見された獨亞銀行の
馬蹄銀百萬圓 金百五十萬圓は當然我に管理される事となる、開戰以來殊に青島陷落以來獨人が英米佛人を惱す事は驚く可き程で英國の某將軍が青島に行つた時の如きは口を極めし罵詈した、從つて英米人の彼等に對する態度も推して知る可しである、併し彼等獨逸人は日本に對しては正義と寛大を與へられたので全く心服して居る目下青島に居住して居る
內地人は屯軍を除いては約二萬人支那人は八萬人以上租借地全體の支那人は十八萬人に達して居る、日貨排斥の際は我軍の警戒宜しきを得たので幸ひに何事もなく濟んだ、その他英米人は約二百人に過ないが其多くは宣敎師と商人である』

漢江增水
二十尺に達す

漢江は前日來の豪雨の爲め六日正午に至り俄に增水し既に二十尺に達せり、上流地方は五日夜半始めて降雨ありたる由なれば更に增水すべく今後一兩日此の天候繼續せば舊龍山江岸一帶は浸水を免れざるべく龍山憲兵分隊にては萬一の變に應ずべく目下準備中なり

坪三石餘
六日の正午迄に

京城測候所に就て聞くに『五日午後六時から六日正午までの雨量は百八十七粍こ一坪に三石四斗二升二合一勺降つた。一番烈しく降つたのは六日朝の五時から六時までの間であつた』こ。

日出小學の卅週年記念式
六日晝夜に亘り

日出小學校創立三十週年記念式は六日午前九時から同校講堂に於て擧行された。定刻に至れば
職員兒童及び保護者並に百餘名の來賓、其他卒業生等定の席に著し、勅語奉讀、勅語奉答の唱歌に次で河合校長同校の歷史等に關する式辭を述べ次いで金谷府尹、山口太兵衛、釘本藤次郞各氏の祝辭、松本正寛氏の答辭があつて式を閉ぢ直ちに餘興に移つた。餘興は
唱歌對話 談話、朗讀等の學藝會に吉備樂を加へて十五番で何れも可愛らしく面白いものばかりであつた。餘興は十一時に終へたが來賓席には松永道長官、金谷府尹、齋藤副官、服部事務官、吾孫子專修學校長、市內各學校長其他多數名士の顏が見受けられた尚今晚八時から同校にて薩摩琵琶、筑前琵琶、琴尺八等數番の催しがある筈である

赤痢患者續出
四十餘名に達す

安東縣に於ては暑氣加はるゝに從ひ日々赤痢病新患者續出し罹病者四十餘名に達し尚益蔓延の兆あり既に滿鐵醫院其他市內一般醫院は滿員こなり大多忙を極め居れり（安東縣）

原蠶種製造所燒失

日午前七時半全州府清水町なる全羅北道原蠶種製造所の蠶種室に出火あり同所講習生蠶絲會社工場員等馳付け消防に努めたるが幸ひ雨上りの事こて八時半頃一棟燒失鎭火せり建物は木造瓦葺平屋三十二坪のものにて當時來春の蠶種二千枚貯藏しあり損害は約四千圓の見込にあり

末恐しき少年

四日午後一時頃鎭南浦龍井里を徘徊中の一人の少年あり擧動頗る不審の點あるより其筋にて取調べたる彼は慶尚北道大邱府金思訓の長男金並甚（十）こ云へる者にて懷中に金十六圓餘並に金緣眼鏡其他を所持し居り其の出所に就き質したるに前記大邱に於て祖父醫生金南秀こ同居し居たるも今より約四十日以前に祖父の油斷に乘じて簞笥の中にありたる現金百圓を盜み出し直ちに大邱を發し京城及び平壤方面を見物し子供にも似合しからぬ飲食等を試みて遂に鎭南浦に來れる事を自白したるより其筋にては直ちに此旨祖父に照會し目下保護を加へつゝあり

僞造紙幣流通

近來全北奧地地方に於て僞造紙幣を行使する者頻出し殊に市場に於て盛んに使用せらるゝ形跡あり印刷の不明瞭と紙質の粗惡なる外貨物に比し差異を認めず既に警務官憲の手に押收したるものもあり目下犯人嚴探中なりこ

不良少年檢擧

清津に昨年來頻聞の盜難事件ありしが今回清津警察署の活動に依り右犯人こして十餘名の不良青少年を檢擧し目下取調中なり

運動界
コート開き延期

京城俱樂部新設テニスコート開きは本日擧行の筈なりしも雨天の爲め延期されたり

▲旭町と云へば歌や義太夫の師匠藝妓屋などがある故か粹な町のやうに思はれる新澤三造の稽古場のある日の出小路附近は別て藝妓屋が多いので朝からチントンシャンで賑やかだ▲旭町には三造の外にビストル奇談の作者勝旭翁がゐる、この勝旭翁の稽古振りを聞いた若い藝者達は『元氣なお爺さん』さ眼を丸くしてゐる▲大阪で死んだ二代目長廣さ一處に來た住吉は東京で床打の看板を上げた、評判が好いので可成人氣があるらしい▲永らく師匠が無かつた元山もこの程內地から豐澤團吉さいふ三味線彈きを招いてさんぺん會さいふのを組織し盛んな初會な催した▲何んでも元山天狗連は充分に咽喉を吹き破つた上で一座を仕組み京城へ鼻比らべに來るさうだと同地の二角君より便りがあつた

平南の果樹園

平安南道內に於ける果樹栽培は近來益々擴張せられ且つその成……者は內地人六十三名、鮮人二百二名、外國人一名計二百六十八名にしてその總反別二百五十五町……反步二十九步……の二名等なり今十町步以上の經營者に付その成績を見るに……往三年間に於ける收穫高を聞くに大正五年には三千貫、同六年に四千五百貫……七年一萬六千貫にして將來に於ける三ヶ年の後想高は大正八年一萬八千貫、同九年二萬貫……

平安攻玉

龍岡郡

大代面大頂里……本澤之助氏經營にかゝるものに……は苹果、梨、桃、葡萄等各品種……

……に搭乘せる京城記者野球團……食堂車內に……行は團長牧山代議士を頭目こし……少憩す夜來の降雨午前十時頃に至り全く晴たるも多少陰雲あり……絕好の野球日なり十一時半より……

合 京城 大阪 木戶錢 四十錢 割引料金 廿五錢 讀者優待割引券 京城日報

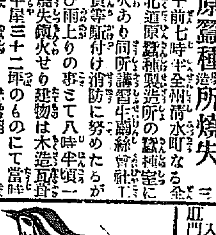
少雨後曇 京城氣溫 ……

資本金 金四千萬圓
拂込濟資本金 金參千萬圓
積立金 金四百貳拾壹萬八千圓
總裁 美濃部俊吉
朝鮮銀行
預金、貸出、割引、海外諸爲替、地金銀ノ賣買其他一般銀行業務竝朝鮮滿洲及浦潮斯德ニ於テ金庫事務ヲ取扱申候
支店出張所及派出所
內地 東京 大阪 神戶 下關
朝鮮 釜山 群山 木浦 鎭南浦 元山 平壤 仁川 會寧
滿洲 大連 旅順 營口 遼陽 奉天 長春 開原 四平街 鄭家屯 吉林 奉天新市街 鐵嶺 哈爾賓 傅家甸 齊々哈爾 滿洲里 安東縣
支那 上海 青島 天津 濟南
露領 浦潮斯德（松田銀行部）（貨幣交換所）ブラゴウエシチエンスク ハバロフスク
右ノ外倫敦、紐育、巴里其ノ他內外樞要ノ地ニ爲替取引先有之候
京城南大門 電話

外科 內科 皮膚科
島崎病院
京城旭町一丁目 電話一七三六番
院長正六位勳四等 島崎

登錄商標 猪印
安住かとり線香
一寸四五本 試してごらん
落ちるわ〳〵 雨の降るよう
ポトリ〳〵と一匹殘らず
後の涼しさ 快さ
到る處の藥店及び荒物屋にて販賣す
大阪北區富田町 安住大藥房

公債 株式
賣買ヲ最モ迅速親切ニ取扱可仕候
三友商會
京城本町貳丁目四五 電話二九三三番使用



●鶉飼養獎勵●
收益多大產卵一ヶ年三百以上 孵化雛、賣約、產卵前の雛、種卵、進物用食卵、色系愛玩用種卵 保險附分讓 詳細五錢郵券送れ
京城南米倉町市場
岩城商會養鶉部

內科 眼科 小兒科
入院隨意 肛門病特ニ痔疾特種注射根治療法解說書入用の方は郵券十二錢
京城黃金町三丁目赤門通（電車停留所前）
附屬 京城肛門病痔疾療院
院長 本田建義
本田病院
電話二四四三番 振替京城三三八番

……經營者と反別　……五町歩以上のもの八名、十町歩以上のもの一名、十五町歩以上のもの各品種の栽培反別二十……

……正五年六千斤、同六年八千斤……

……京城記者團對戰……五日夜九時五十分南大門驛發列車にて……自動車に搭じ……

小學生の體育に就て

第二の健全なる國民を作らんとするは吾等の義務也、我社は小學生の體育に關しては、常に主張する處あり、今世界大戰の終結に際し、平和克復の記念として其の可なる者を採て之が實行を慫慂せんとするに當り、汎ねく江湖諸君の輿論に聞かんと欲し、敢て標題の如き題下に諸君の名論卓説を叩かんとす、奮て投稿あらん事を希望す

京城日報社

第五版

兩督軍暗闘の裏面（上）

一時兵火の慘を見んとせしも　漸く鎭りたる模樣なれど暗流依然として横たはる

既報の如く一時危殆に瀕したる張巡閲使對孟督軍の關係も其後漸次緩和されたる模樣にて目今の處にては小康を保ちつゝあり、或は孟督軍の現狀維持を以て兩者の確執も圓滿に解決さるゝならんと傳へられ居れるが元來張巡閲使が孟督軍を解任せしめて黒龍省と共に東三省の實權を自己の掌中に收めんとするは多年の宿望にして從來事毎に其の鋒鋩を顯はし來りしが過般の孟督軍彈劾事件當時は表面孟氏に同情を寄せ形勢觀望しつゝありし張使も近く孟督軍直接の責任にあらざるも

省政の紊亂 より省民の反感を買ひたる機とし突如自派の者をして一面中央に運動せしむる一方優勢なる自己の軍隊を吉林省界各地に增派駐屯せしめ威壓的に孟氏に辭職を強要せんとしたるが孟督軍に於ても既に近來各方面に渉り自己の形勢漸次不利に傾きつゝあるを看取し時宜によりては此機會を以て寧ろ閑職に就くが得策なるべしとの意嚮を有し身邊の者にも其旨を洩し居たるなりしが其後張使の

高壓的態度益々 猛烈鮮明となり來りし爲め渺からず張使に對する反抗心を煽られ居たるが女婿にて吉林軍の枝子とも云ふべき第一師長高士儐中將を始め各幹部連の強硬なる堅言反對により茲に愈々其對抗策として各地派遣軍隊を集中し場合に依りては吉黑の省界に於て奉天軍を邀へて兵火を交へんとするに至れり

奉天より

毒殺の評判眞相

◇張督軍毒殺の報が何處から傳へられたのか知らないが先頃盛んに朝鮮から內地方面で傳へられた樣である

◇其に就いては萬更跡方もない譯ではないが誤り傳へられた事は事實である、其は張督軍は非常の以前から病氣で今尙療養中である

◇處が恰も孟督軍との間に妙な關係が出來て双方から盛んに陰謀者が密偵をやつたり取つたりして居た時に張督軍が吐いたとか下したとかやつたものだから堪まらない

◇事あれかしと待かまへて連中がソラ毒殺だイヤ死んで仕舞つたとやつたものだから此處に一大聲を吹ての例により盛んに方々へ傳へられた譯である

◇現今でも尙ほ此密偵や陰謀者等は吉林へやられてゐると共に奉天にも渺からずやつて來てゐる樣である、が最後はマア一時日の經つに從つてモノ分れが落ちだらうとの見込

◇世界平和大會議で何でも支那は條約に調印を拒絶したとの事であるが困つた問題である何とか氣脈を通じて調印したらごんなものだらうか

◇序にモー一ツ例の滿蒙鐵道やら吉會鐵道やらの話も双方で十分に話はついてる相だが是れも調印をせぬのでやつぱり行惱みの態とは重ね〳〵考へ直して貰ひたいものである

◇それはそれとして一ツ膽に日本は東三省は接壤地であるから優越な權利があるとかないとか字句の上では隨分と議論がある樣だが

◇實地に於て優越な處を欲してるかドウだか判らない、今度の張孟兩督の紛擾に對しても日本の外交家と仰せらるゝ方はだんまり

◇張督軍が東三省で大勢力を擁す樣になつたのが良いか將又現在の如くお隣に張督や帝制派の居る方が良いか

◇その邊が第一に判つて來ぬと何處やらソンジョソコイラでは何處の國のお役人かは知らないが盛んにイガミ合つてるこの話が高いぞ〳〵

日本化せし奥の繁榮（二）

哈爾賓繁昌記＝刻下の二問題

（左に掲ぐるは前號「日本化した奥の繁榮」の續稿也）

官衙及公設機關 近年の懸案であつた哈爾賓總領事館改築の儀も益々其急を告げて當局では熱心に之が運動を試み、最早相應の敷地も求めて居る、今年の議會迄は不幸にして通過しなかつたが來年あたりは多分成功するであらうと期待されて居る、而して前館の事務、外部との折衝とは出兵前の三倍以上も多忙に赴いてる、在留邦人も同樣で以前三四名でやつてた唯一の機關たる哈爾賓民會事務も今日では十有餘名を以てしても尙手不足の爲め増員され同會計議員も之迄全部官選で行つたのが昨年の三月から半數を民選に改め、本年の三月に入つては其民選に當つた連中は何れも少壯新鋭の士ばかりの新顔になりまた昨年夏には之迄取扱つて居た郵便物を公然と新市街に

日本郵便局を 設立するに至つた、そして目下在留民の二大問題として公會堂の改築と完全なる小學校々舍の新築を要求して居る、公會堂は邦人約六百時代に設けられたもので最早今日ではごうとも仕方が無いので速かに改築の儀を立て、往年當地に斃れた伊藤公を主體とし沖横川兩志士合祀の

護國神社を建て 其記念館と公會堂を一所にしたものを設けようとして昨年其計畫に三十萬圓の豫算を立てたが之れは都合あつて中止となり何とか方策を廻らすではないかと有力者間に話が持上がつて居る、又一昨年迄は約五十を算した哈爾賓小學校も出兵後邦人の生命財產に危險なき事が保證せられ且つ

永住の根據を 據るの傾向が著しくなつたので今夏に至つて其數正に百を越え月々に增加しつゝある、元小學校は公會堂を校舍に利用して居たが今では狹きを感じて授業に困難を感じて居るので完全な校舍の新築は目下の急務とされ居る、そして昨年迄に三學級三名の教員でやつて居たが今日では四學級四名今年中に是非五學級五名にしようと奔走中である（未完）

釜山穀物市況

釜山穀物市場六月中の出來高は左の如し

品名	數量（個）	相場最低（圓）	最高（圓）
精撰米	三六四八	四三、五〇	三七、〇〇
中白米	一七三八	三九、八〇	三六、〇〇
玄米	一四八〇〇	四四、五〇	三四、〇〇
糯上白	三三	四〇、〇〇	……
糯中白	七	四〇、〇〇	三八、七〇
糯玄米	三七	三八、七〇	三二、五〇
粉米白	九	三一、〇〇	……
同玄	三四三	一七、五〇	一五、二〇
大麥	一〇〇	七、〇〇	……
小麥	五五二	一八、二〇	一四、八〇
小豆	一〇二〇	一四、〇〇	一四、二〇
大豆	三三五〇	一八、〇〇	一四、九〇
花子	一五九	一七、二〇	一七、〇〇
粟	二五〇	（百斤）一七、二〇	七、五〇
麥安	三〇八	一七、〇〇	一六、五〇
共他	三三二		三、〇〇
計	十九萬〇六百七十九個		

にして前月の廿六萬五千九百九十二個に比するに七萬五千三百十三個の減退せるは當月初旬より概して相場の變動激しきと平均に於る市價は日々に昂上せるを以て一般商人は強硬の態度にして賣人少き處へ產地よりの廻送皆無の狀態を呈したる爲め漸次在庫品の減少を見るに至りたる結果市場商內も薄く又內地買注文も少き結果に因るもの、如し因に當月の平均値段に比し約一圓五十錢方の高値を示せり（釜山）

朝鮮の佛教（下）

第二師　黙法師（寄）

臨濟大師 より十世の孫に碧巖で名高き圜悟克勤禪師あり。禪師の七世孫の及菴宗信の下に石屋淸洪禪師と平山處林禪師との二傑足が出て居ります。平山の法燈は瀬翁和尚により石屋の法燈は太古和尚によりて共に朝鮮に傳へられました。先づ太古和尚より紹介せんに

太古普愚 和尚は北漢山太古寺の碑銘による＝忠淸道洪州の人にして、元の成宗大德五年（後伏見天皇の正安三年）に生れ十三歳にして檜巖寺（楊州）の廣智禪師に就いて得度、萬法歸一の話に參すること多年、元統二年三十三歳の時城西の甘露寺に安居中一日踊躍する所ありたり日頃の疑問一時に剝き落されたことある、其時作られた頌の結句に『佛祖與山河無口悉呑却』とあります。更に三十七年の冬檜巖林にありて

趙州無字 の話に參しけるが、翌年の五月三日の五更豁然大悟し其頌に『打破牢關後、淸風吹太古』が其結句となつてあります斯くて和尚は常に所謂千七百則の公案に參じて看話點頭密啓の處に至らざりしが一日至りこれを求むること得ず良久し忽然として悟りあり即ち冷笑一聲して曰く『巖頭雖善射不覺露濕衣』と、此が太古和尚の鮮地に於ける大體の修行の樣子であります が、其間如何なる方法によりて

誰に就て 修行せられたかといふことはわかりません、他の事情より推して恐らく此時代に師が滿足して師事しやうといふ師家は鮮地には無かりしにあらずやと思はれます。其後師は永嘉大師の證道歌に倣つて一編の歌を作り『太古庵歌』と名づけられたとありますが、今は私の手では存否不明であります斯く既に十分の證ありと雖も

大器なる 師は之を以て滿足するを得ず至正六年即ち御年四十六歳の時單身中國の燕に遊び、更に進んで湖州の霞霧山の石屋淸洪禪師に參じ、所得を呈し且太古庵の歌を獻せしに石屋禪師は深く之れを器とせられ問ふに日用の事を以てせらる時師曰く『未審此還更有事否』と、禪師曰く『老僧亦如是三世佛祖亦如是』と茲に於て禪師に嗣法す

禪師袈裟 を以て信を表し曰く『老僧今日展脚睡矣』如何に喜ばれたかゞ伺ふことが出來ると和尚は山に留まること僅に半月にして下山されたが、時の天子師の道譽を聞き永寧寺に開堂せしめられて居ります。師は翌年四十八歳にて歸鮮其後恭愍王の歸依を受けて國師號を贈られました。右は師の重なることのみ記したのでありますが

流石は 半島の開祖と仰がれる程ありまして、其心機の大なるには驚くの外はありません、既に石屋に參ずるまでに三四度も見性しながら之に滿足することなく四十六歳の長老となりて國に入り正師を求むるなどは中々偉いものだと思ひます、そして師は非常に温厚の人で所謂の禪者の

機鋒 俊烈にして行狀亦衆人の意表に出ずと云つた風の人ではなかつた樣に思はれます。しかも強直にして惡を憎み不正を見ること蛇の如く嫌へそがため危害の身に迫るも敢て怖れなかつたことは、彼の逆僧辛旽の邪を責め却つて罪を得て居るのを見ても解ります。師の嗣は約[illegible]で京畿道廣州の人、高麗忠肅王の七年（後醍醐天皇元應二年）の生であります。師は

恭愍王 の歸依を受け、普濟禪師と諡號され國師號を賜つた位の人である故に偉かりし人ならんも、如何なる經路によりて太古和尚の弟子になられたかは少しも知ることが出來ません。師の嗣は龜谷覺雲にて湖南龍城の人、其嗣は碧溪淨心にて

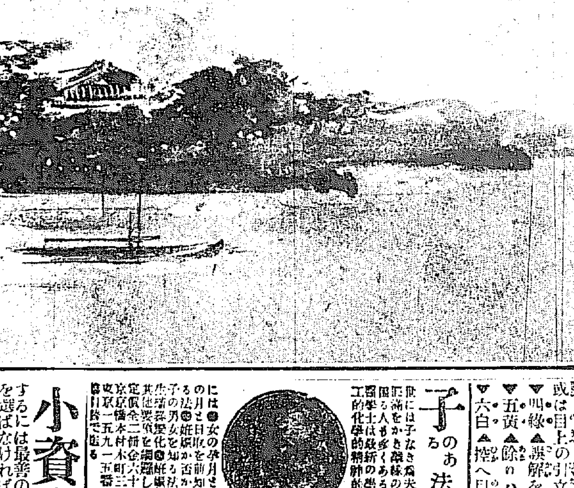
慶尙道 の人であります。師は龜谷和尚に就て法を嗣ぎ、更に渡つて明の國に入り、更に法を傳へて歸り恭讓王の招を受けたれど行かず、後ち沙汰によりて長髮し妻娶を迫らるゝことありましたが、此沙汰と云ふのは何の沙汰であるか明瞭でありません

日本名刀傳　九十七

東京　田邊南龍講演

五郎正宗（廿三）

前回にも申上げました如く禁裏御番鍛冶となりますれば官位を賜はり日本一の宗匠と崇められますから、此上も無い名譽。現今で申せば帝室技藝員、左れば禁裏よりの御命に依つて諸國から腕の優れたる刀鍛冶が京へ上り、宿を賜はり各々精進なる地を選んで仕事場を設け熱心に刀を鍛へて差出します、正宗も弟子三人を連れて上京しました例の備前長船の作人世呼んで魚兼光と云ふ男、腕はなか〳〵優いが性質が良くない、高慢の鼻高々と、今度の御番鍛冶はおれだと自分で極めて、多くの刀鍛冶に別れを告げて是れも京を指して備前を出立しました、ごう



せ俺に極まつて居るのだからすきに往けば宜いと、途中須磨明石の海岸の景色など眺めながら泊りを重ね、やがて大阪から淀川を舟にて伏見へ着し、それから伏見の稻荷大明神へ參詣して京へ入つて來ました、いくら神へ詣でましても人をあなごり自負心のみ強いものが、何で神の加護を受けることが出來ませう良からぬ性質の者が神に願ひかけて御利益を受けようとして耳を掩うて鈴を盗むの類でござります、さて京へ集まつた多くの刀鍛冶は各々一心不亂に一刀を鍛へてお掛りの萬里小路卿のお手許へ差し出しました、萬里では直ぐに其刀の檢査があつて三四日中には御採用の刀は極まり、誰を以て御用鍛冶に任ずると云ふことも分かりますので各々尙三四日京に滯在して其結果を見て歸國するのでございますが、此の年はごういふ御都合あつてか三四日では檢査が濟みかねるからいづれ後より採否のことは通知すると云ふことでございましたので、多くの刀鍛冶は一先づ歸國致して御沙汰のあるのを待つてをります、依つて正宗も兼光も歸國しました、其の中に早刀稍經ちますと御檢査の結果が分りました京都にをりましたので、前々同に申しました備前鍛冶の助兼街ら飛んで急せき切つて備前へ歸つて來まして、又備前の主なる刀鍛冶が長船に集會しました、助兼が『さて皆の衆、私は皆さんから頼まれて京に往き、一刻も早く樣子を知らせようと思つたんだが、ごう云ふ御都合だつたか、今年は御檢査が後れて漸く分かつたが、わらいことになつたぞ兼光の奴め、自慢して居たが、高々今度日本の宗匠たるべき人は私達が察し考へた通り相模の五郎正宗と極つた、然も兼光の奴はズッと末の方の番に廻されたとのこと、さうして京都から確めて來たから、是れから皆の衆御知らせに明日の晝過ぎには兼光の許へ押掛ると云ふことで、少し前に乘込んで日頃から睨みつかされて居る腹癒をしてやらうぢやァないか』一同聞いて手を拍つて『何とまァ好い氣味だらう、其の宗匠は自分だと一人で極め込んで居やァがつて、俺達を犬か猫のやうに思つて居やァがつた、態ァ見やがれ、茲で腹癒をしてやらなくつちゃァならねぇ、さうだ〳〵』と其夜の中に、ワル樽を用意した、ワル樽と云ふのは酒樽へ小便を詰込んだものです、小便を詰込んだワル樽を兼光の家へ擔ぎ込まうと云ふのですから、隨分豪い騒ぎとなりました

京呉服　京都たまや出張店　本町二丁目　電話二九六

皮黴科專門　外科　扇田醫院　京城太平通二丁目　電話二三五八番

七月八日

（舊）六月十一日　火　赤口　つ　劍鋒金　西　かのさり　仏滅　閉　みゝ　七

小暑　京城時刻　後二時二十二分

▼七赤▲石橋を叩て渡るべき日
▼八白▲調子づく口にして萬事に吉なれど矣進を戒むべし
▼九紫▲油斷のなり難き日なり
▼一白▲ちよつと判斷に迷ふ日
▼二黑▲願つたり叶つたりの好日にして正しき望みは叶ふ可
▼三碧▲結構な華美なる日にて
▼四綠▲運解を招き易き日なり
▼五黃▲餘りハキ〳〵せざる日
▼六白▲控へ目にすべき日なり

子の法ない法

世には子なき爲め夫婦の愛情薄く又家庭に風波を起し……

小資本成功　最良の手段……大商人となる方法を授く……東京神田萬世橋　日本通商株式會社

ぢんぞう炎　チンゾウ炎　腎臟炎に特效の良藥あり……天明堂

はらに　カタマリ　下り痛み　子宮病に……湧泉堂

りん病淋滅……

ルーデサック……

大口欽迎　黃金町長橋町入口　田村質店　電話二九一六番

浪花館　電話二六〇番　納涼興行諸藝大會　七月五日午後六時より開演　▲落語　笑福亭　▲輕口　▲落語……

情人劇　輝く路　全五巻

日本活動寫眞會社代理店　電話八七三番　本町　大正館　七月六日より特別大興行　料金普通　大阪名所見物　大曲藝　喜劇　道化揃ひ　長尺　妹の爪　世界的連續冒險劇　第三回　七眞珠　第五六篇　地下の牢獄

雨中滿員の爲め大混雜を來し不行届の段平に御容赦被下度候　本町　喜樂館

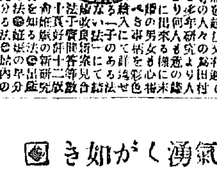
人氣湧くが如き　水戶黄門漫遊記　全廿二巻の內七巻上場

豪雨中の二日目　七時既に滿員

千里眼實驗大會　三田光一氏　京城本町　壽座　七月七日八日兩日間午後正七時開會

演藝案內　本町一丁目　喜樂館　電話五九七番　七月四日より　平和記念特別大興行　信州信濃善光寺御開帳　旅行中の不思議　活人劇　汝の罪　全五巻　水戶黄門漫遊記　全九篇十八巻の內七巻上場

相撲　鎭南浦興行中　社報



ワタシのスキなオバさんはワタシのスキなホーカー液

いつも麗つて呉れました

ホーカー液はワタシ達の顔の色艶をイキ〳〵させます肌の荒れるのを防いで呉れます殊にこれからはイヤな夏のアセをも防いで呉れるのでお父さんからも勸められ母さんや姉さんと毎日一緒に附けます

日ヤケを防ぎ白色くなる

家庭化粧料　ホーカー液

中元の贈答品として

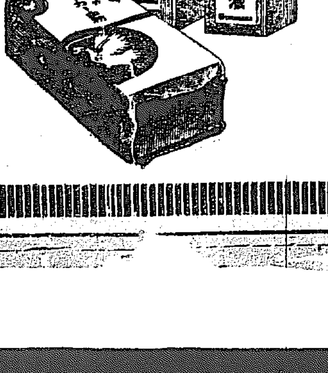
贈る人には手輕、貰ふ人は喜ぶといふので　ホーカー化粧品は毎年各御家庭から多大の御用命を蒙つて居ります、今年は此に御定め下さい。

進物箱案內

一、ホーカー液の中瓶三本を入れた大箱が一圓二十錢

二、ホーカー白粉三個を入れた箱が定價七十五錢

三、ホーカー中瓶とホーカー白粉それにホーカー美髮液の小瓶とを詰合せたものが定價九十錢となつて居ります



●色を白くする●色艶を善くし●キメ細かにす●白粉下に好適●日ヤケを防ぎ●剃刀負を防ぐ

全國到る處の小間物化粧品店洋品店、藥店等に販賣す若し品切の節は振替か切手にて直接本舗へ御注文を乞ふ

ホーカー液　ホーカー白粉　ホーカー美髮液　ホーカースポート

東京神田和泉橋　本舗　堀越嘉太郎商店　電話神田一四一三　一四四四　振替口座東京一二五六

汽車

壹ケ年製産額

三百六十萬圓を超ゆ……やうに

美顔白粉

賣れて行く!!!

▲光榮ある御化粧料……三十六種の内▼

桃谷研究試驗所創製

東京 大阪 桃谷順天館

京城日報
第五版
(中無休刊)
一部參錢 壹箇月七十五錢▲郵稅 前金▲參箇月貳圓廿錢 前金▲六箇月四圓五拾錢 壹箇年同▲郵券代用二割增
廣告料 五號十四字詰一行一圓五拾錢 同二號七字詰同二圓▲同三號九字詰同二圓▲四號十六字詰同一圓 別二號八字詰同▲
一號四五十錢六十六字詰金一圓
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 合資會社京城日報社
電話番號長六千九番 振替京城一一○三○番

圖畫教育と國民的藝術(二)

岡田秀氏講演

日本は既に支那の文明を直接或ひは朝鮮を經て輸入した從つて在來の日本の文明の大部分は舶來の文明で夫れが長い間に日本化せられたのである、其の支那の文明中には印度から受けた者があるだらう、印度の文明も遡つて見れば希臘から傳へられた分子がある。現に大和の法隆寺の夢殿にある觀音像には希臘模樣が出て居ると云ふ樣なことも生ずるのである、日本古代の文明の中にも希臘印度支那朝鮮の文明を含んで居る、近代は又葡萄牙杯の所謂南蠻の文明をも取り入れて消化して居る。日本人は所謂包容性の卓越した國民である。十八世紀から十九世紀にかけて英吉利と佛蘭西とは常に相反目し其の結果英國では自國を絕對に佛蘭西化せられまいと努め一方佛國でも亦絕對に英國の影響を受けまいと苦心したものであるが斯ることが實際に行はるべき筈のものでなく夫は遂に無駄の骨折に終つて仕舞つた。他國の長所を取入れると云ふことは大いに必要なことである。所が我が國では明治の初年に於て國民が餘りに西洋文明に心醉した結果在來存して居たものは何でも彼でも破壞し葬り去らうとする風潮が盛となり一面に於ては自然的に是れに反抗する者を生ずるに至つた。此の現象は種々の方面に於て是れを認めることが出來る、今日西洋畫或は日本畫と云ふ樣な區別があるけれども兩者はだん〳〵接近し混合融和せられなくてはならぬものである。又從來是れが爲めに教育上圖畫に於ても色々と厭附を受けると云つた有樣であるが、教育上の圖畫としては埃及のものでも、アッシリヤのものでも、近世歐羅巴のもの殊に極新しい印象派の繪、未來派の繪でも構はない名前や型に拘泥する所なく教育上採るべきものは採つて差閊へ無いと思ふ。殊に埃及の繪には小學校等の教育に適した分子が少くないことを認める。如何なる文明國でも子供の心理と云ふものは未開野蠻の民族と共通の所が頗る多い。蠻人の生蕃の製作した織物を見ると强烈なる色彩を用ひてあつて力の躍動と云つた樣な感じを與へられる。斯う云ふ原始的のものが子供の心理狀態にも殘つて居ると云ふことを見逃してはならないのである。更に角右の如き理由に依て圖畫に對し單に材料の上から西洋畫、日本畫等の區別を設けるのは妥當でない寧ろ區別しない方がよいと思ふ。殊に滑稽に感じさせられるのはペンとか鉛筆とか用紙とか云ふ材料は最初は西洋で作られ日本に輸入せられたものであるが今日は皆日本で出來る加之日本から外國へ輸出して居る程である。

金融界觀測 形勢一轉化

上半季の金融市場は國庫の稅金收納及び貿易の入超に依り大勢引締の狀態に向ひ特に六月に入りては生絲資金の需要に加ふるに上半季決算資金の需要を生じ兌換券は遂に十一億に上らんとし又コールは二錢一厘の高値を呼び金融市場稀なる繁忙狀態に導きたり然れども

斯る現象 は去月末を以て一段落を告げ今後は再び資金の回收を見るに至らんとせるが更に今後の成行を見るに上半季末に放出せる決算資金は今後順調に回收する豫想なると共に六月中に放出せる生絲貸出金は生絲の賣行き良好なるに依り例年に比し其回收期を早むる豫想なるのみならず蠶繭地方は米價の騰貴にて一般に資金の豐潤を感じつゝある折柄更に繭價の高値に依り益々懷工合を暖かならしめたることゝて之等地方の金融は緩慢の中に資金の漸次中央に集積するもの少からず又上半季國庫に收納せる稅金は今後民間に散出する筈にて爲に民間資金を充實するに至るべく又同季間入超を繼續せし

外國貿易 は下半季に入り出超に轉ずべければ再び外資の流入を見るに至らんとす其の他上半季に於て事業界の沈滯狀況を呈するや銀行の貸出は漸次固定する傾向を生ぜしも今や事業界の回復好況を見るに從ひ貸出金の回收甚だ順調となれると共に一般の信用取引を擴大しためにに資金の運轉力を增加し間接に資金の供給力を增大しつゝあり斯の如き事情にあれば下半季金融は大いに緩和すべき狀勢にあると云ふべし然れども他方に於て資金の需要を見れば之亦一般經濟上及季節上の關係に於て上半季と大いに趣きを異にする所なきにあらず即ち季節上の關係に於て今後

最も注意 を要するは第一當月は盆節季に當るを以て其經濟資金の需要を生ずると共に第二に當月末頃よりは夏秋繭仕入れ資金の需要を發生し其需要額の相當巨額に上ることなり次に一般經濟上の關係より見れば近來物價の大勢は益々奔騰の傾向を生じ特に株式市價は殆ど戰時の熱狂相場を現出し同時に事業計畫は漸次勃興の萌芽を生じて事業資金の需要を一層增大するに至らんとせり然れども今日一般經濟界は戰後經濟界の如何に變遷すべきかに付き稍大いに疑惑を抱き無謀の計畫はこれを警戒する風習を生じつゝあるを以て前述供給增加の趨勢にある資金を善く吸收し更に資金の缺乏を招きて金融を

緊縮狀態 に陷らしむるは之れを想像し得ざる所なり即ち下半季の金融は上半季金融の緊縮狀勢を一轉する狀態を誘致するに至るべしと雖も金融の緩慢は物價の奔騰を助勢すべきに依り政府は金融の緩和するや直ちに公債を發行して民間資金の吸收を怠らざるべし加之戰時其實力を增大せる既設會社は戰後世界の商戰場裡に立ちて其勝敗を爭ふ準備として今後資本の集中を企つる必要を生じ資本金の增加及び社債の發行計畫を續出するに至るはこれを想像するに難からざるなり斯の如く觀測すれば今後の金融市場は其

資金供給 の關係に於て大いに其の緩和氣分を高むる狀勢にありと雖も資金の需要を加する點に於ても種々の新關係を發生し從つて兩者の圓滑なる適合を見る過渡期に於いて多少金利の高低を惹起しつゝ大勢穩なる經過を辿るに至るもの、如し(円寺)

金剛山スケッチ(三)

望軍臺　古賀祐雄

黃泉江を右にし龜淵轉石を踏んで登攀する間を縫つて進む、半里にして水簾洞あり、飛流岩面を滑つて泡沫塊となつて流る、これより鳥路愈々嶮岨にして流汗淋漓の勞あるべしと雖も望軍臺下の巖壁に一憩して更に鐵脚を恃し人無きを怨む啼鳥を驚かしつゝ密林を出で一條の鐵鎖によつて數十仞の削壁を攀登すれば望軍臺上に達す、蓬萊内山の諸峰を一眸の内に集め衆香、觀音、長慶の諸峰遙か脚下にあり、時に梢頭を掠めて飛鳥深く白雲に入るをあふげば月出峰上銀鉤高し

錬膽錄

三笑生

上泉伊勢守

◇上泉伊勢守は、新陰流元祖であるが、其の用心や言行は、其の根本に固め、夫より縱横の妙用を顯はした好範例であらう。

◇曾て諸國修行の時、或る一軒の民家を、村人が取り圍んで、ワイ〳〵騷ぎ立つてる所に往き合つた。其の譯を聞くと『一人の罪人が、逃げて來たのを、役人が召捕らうとする所に、罪人は、逃げかけた村の子供を奪ひ取つて人質となし、役人が近づけば、其の子供を殺すと云ふので、如何とも手が付けられぬ所だ』と云ふのであつた。伊勢守は、暫く首を傾けて居たが『よし、拙者が其の罪人を傷つけずに召捕つてやらう』と云つた。

◇役人も村人も、半信半疑の態で見て居つたが、伊勢守は、傍に立て居た一人の行脚僧を隣家の一室に伴ない、其の僧の著せる法衣を借受け、頭をクル〳〵と圓めて、忍辱柔和の出家となりすまし、二個の握り飯を懷にして、ツカ〳〵と其の家の内に這入つて往つた。罪人は窮鼠の勢ひ『己の身に指一本でも付けて見よ、此の餓鬼の命は、是れ斯ふだぞ』と、鬼のやうな手を以て、小さな子供の喉笛を押へた。

◇伊勢守は穩かに『血迷ふてはならぬ。拙者は、見らるゝ通り出家の身ぢや。今通り掛つて話を聞けば、罪もない其の子供が不憫でならぬ。終日何も喰はずにさぞ腹が減つた事であらう念悲を旨とする僧の身の、せめてもの心遣りぢや、是を與へて吳れ』と、懷から握り飯を出して、投げて遣つた。そして更に一個を取り出して『そなたにも遣ろ、これを食るがよい』と、また投げて與へた。罪人は、慈悲ある出家と見て、すつかり心を許し、喜ばし氣に手を伸ばして、それを取らうとする一刹那、電光石火、躍りかゝつて捻伏せたが、斯うなれば新陰流の元祖、猫が鼠を押へたよりも容易く、忽ちの內に高手小手に縛しめた罪人を引き立て、小供を抱いて、悠々として出で來つた。

◇子供の親は、涙を流して感謝し、役人と喜び村人一同も、ヤンヤと歎稱した。法衣の主の僧は、伊勢守の態度を、ジツと見てゐたが『貴殿こそ、誠に豪傑の士ぢや、禪家に劍刃上の一句と云ふがあるが、貴殿は、此の一句を立派に悟られたものぢや』と深く感賞して、自分の首にかけてゐた、掛絡を取つて、伊勢守に授け『御緣があらばまた………』と立ち去つた。

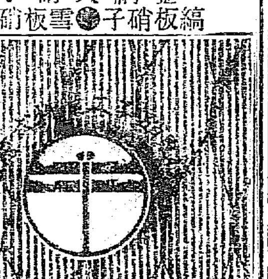
◇今の罪人を捕へ子供を助くる場合の如き、たとひ萬夫不當の勇氣あり、至妙の劍術が出來たからとて、これだけは如何ことも出來ない。身に寸鐵を帶びずして、能く咄嗟の間に、目的を達した伊勢守は、確に劍刃上の一句を悟つたものと稱すべきであらう。

(三日...を見たり ...の)
海軍及...少將(急進黨)農務バセリー(左黨)工部パンタノー...(左黨)...にして...多數政黨を...るに似たるも一般輿論は外...ナウ...來の...留保の...を採ると...に...は依然...國に...氏代議院にてニッチ氏...る入百...ニッチ氏...佛國の態度...の平...なりしが...以て聞...

市來乙彦氏談

因と...から...問題に...し...輸出...力を生産增加及び...に集中するの...を以て原料品を除ける他の...日露貿易は露國側に因り甚大なる打擊を...近一兩年...府の基礎...强國を加へ...英國と共に...を以て其承認...の...國は...其他の列强と...も非ず大...ク紙幣は...始めて内外を...し近き將來に於て...なる通用力を享有し...的に入ると觀測するが...

金網入硝子 縞板硝子・雪板硝子



朝鮮一手販賣店
協同組商業部
京城南米倉町 電話三二三番

太陽 七月號

戰時英國觀……杉森孝次郎
官制改革(政界の寢狀)……無名
勞働保護(施設を要請す)……堀江法學博士
國の運命……米田實
勞働と經濟……河津法學博士
戰時保險施設……保險官
對支借款……小林法學博士
朝鮮自治……末廣法學博士
國際聯盟と日英同盟……
社會黨……
カントと獨逸文化……
讀書界支配力……大庭柯公
愛執の日……吉田絃二郎
定價四十五錢 東京本町 博文館

日本アルプス畫報

丸山晩霞書伯裝幀
發行所 東京書報社

繭問屋開始

東蠶社

株式會社第一銀行京城支店

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千四百六拾萬圓
總預金 參億三千萬圓
頭取
支配人 佐々木勇之助
竹村利三郎

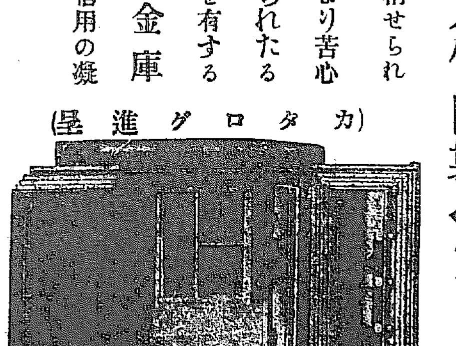
アスファルト

防水工事 陸屋根工事 便利瓦 フェルト 原料販賣
日本建築用製紙株式會社代理店
京城永樂町二丁目 德田商會

東京竹内製ペント金庫

弗箱と稱せられし時代より苦心研究せられたる活歷史を有する竹内金庫は實に信用の凝塊なり

(カタログ進呈)



京城 熊平支店
電話 長六二四番 振替京城二二番

國民教養 智識の泉

高島平三郎先生監修
洛陽堂編輯局纂

▼逸話の泉姉妹篇出でたり!!!

四六判布製函入三百頁餘定價金壹圓五拾錢送料拾錢

現代に切要なる知識は、能く現代を理解する時務的知識也。今や世界は歐洲戰亂によりて、新思想の勃興、經濟の改革、科學の活躍地圖の書換等、有ゆる方面に大變化を來たせり、本書は是等現代の新知識を附與せんが爲に編纂したる者にして、文章平易、材料豐富、趣味橫溢、學校家庭に於ける好個の教材たるは勿論『逸話の泉』の姉妹篇として一般國民の必讀すべき新知識の源泉也

(本書内容の一部)
『修養』『理化學』『歷史』『地理』『實業』『經濟』

發兌元 東京市麴町區隼町廿番地 洛陽堂 振替口座東京二〇九一四

名曲 ニッポノホン お待兼の七月新譜

お中元の贈物や夏休みのお慰みに
ニッポノホン蓄音器と鷲印レコードとは最も適した品で御座います
鷲印(兩面盤一枚)定價金壹圓貳拾錢

芳村伊十郎氏吹込

長唄 楠公 / 清元 三千歲 / 常磐津 釣女 / 芝居 忠臣藏 / 管樂 汐くみ / 生田流 八重衣 / 筑前琵琶 ...

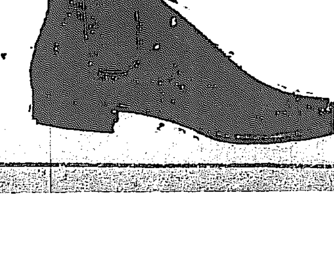
株式會社 日本蓄音器商會 東京市京橋區銀座一丁目

鷲印レコード

株式會社朝鮮殖產銀行

資本金壹千萬圓
年賦又は定期償還方法に依る勸業資金貸出の外一般商業金融業務を取扱申候
京城南大門通二丁目
頭取 三島太一
支店

優秀堅牢眞に履具合好き靴
△極上ボックス皮 甲 十一圓五十錢 乙 十圓五十錢 丙 九圓五十錢
△舶來キット皮 甲 十六圓五十錢 乙 十五圓五十錢 丙 十四圓五十錢
京城日報社代理部 京城太平通 電話長六〇〇九番 振替京城三〇〇番



製造元とのやくそくで割の安い品そろいの大おしろ店

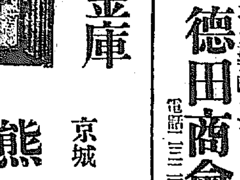
河野本店 仁川本町

米國製ラケット入荷
京城本町 篠崎運動具店

運動具全部荷揃

印刷機械、國產及舶來石版石附屬インキ、シテ紐、國旗及附屬品、竹細工、農蠶具、雨傘、棕梠製品各種新荷著
京城府本町三丁目 藤富國太郎商店

櫻正宗櫻魂發賣元 京城明治町二丁目 山邑京城支店
宮內省御用達
兵庫縣灘魚崎 山邑太左衛門釀造
サクラ正宗



日支協約消滅
支那條約調印拒絶の結果

日本講和委員は語りて曰く支那が自ら條約調印を回避せる上は千九百十五年（大正四年）の日支兩國間協約に基く日本の義務は自然消滅に歸し日本は自己の欲する所に從ひ自由行動を執り得可しと（巴里電報）

支那委員詰問

北京政府は巴里の支那講和委員に對し詰問的電報を送たるが同委員等より詳細の報告あり次第斷然たる處置を爲す可し（北京電報）

伯林に同盟罷業

伯林には重大なる同盟罷業勃發し各種製産業中止され目下軍隊鎭壓に努め居れり（倫敦電報）

米國大統領歸著

ウイルソン氏は一日午後四時無事華盛頓に歸著せり（華盛頓電報）

反對學生沈默

曾て對獨逸講和條約不調印を高唱せし北京學生團、上海學生團及山東省諸團體等は支那委員調印拒絶の報と共に國內識者階級及び新聞紙が同委員等の專行より延いて支那を國際的孤立の不安なる地位に陷らしめたるを非難詰責するの傾向あるや闃として聲無し（北京電報）

公侯子の會見
時局問題の意見交換か

二日午前加藤子は山縣公を其本邸に訪問し約二時間に亘り會談せるが午後四時大隈侯が加藤子を同邸に訪問し約一時間の談話する處あり越ねて三日には山縣公が突如として隈侯を訪問し會談約一時間に及べり其答禮の爲にや五日隈侯の山縣公を自邸に訪問せるあり政界の一部又右の事實より頗々**臆測を生じつゝありて**加藤高明子自身は山縣公訪問に對し辯明し只山縣公の病氣全快祝として同公邸を訪問したるものにして特殊の要件を有するものにあらず素より子供の使にあらざれば多少普通以外の政局に觸れたるものもなきにあらざれ共之こて別に込み入りたるものにあらず僅に世間話を交換せるものにして其他に意味を有せず更に隈侯の同邸訪問に對しては隈侯より中元の禮を受たるものにして他に何等意味なしと辯明しつゝあり而して右は如何なる問題なるか **山公隈侯の** 會見については何人も其眞相らしきものを得たるものなく兩者の口より何等辯明を聞く餘地なきも洩れ聞く處によれば公侯の會見問題は今日の世界改造に對する日本の立場につき意見の交換を行ひ思想界の動搖について兩者の間忌憚なき意見の交換ありたるものにして政界筋より聞くに時局問題については接觸する處あらざりしが如く要するに **國策樹立に** ついて兩者の間に意見の交換をなしたるに過ぎざれば世間にて彼是噂を立つる價値なかるべく［illegible］は此問題について現內閣に對し一種の警告を試むべく更に山縣公も亦忠告を發せるものなりと思惟しつゝあり されば山縣公と原首相との間には首相の一兩回山公を訪問せる事によりて意志の諒解ありと（東京電報）

東宮殿下行啓

皇太子殿下には四日夜長野市に御一泊相成り五日午前九時長野縣廳に行啓あらせられ廳內御座所に入御赤星知事以下に拜謁仰付けられ後物産陳列場其他台覽ありたり（東京特電）

總督一行乘船

春帆樓に一泊せる長谷川總督一行は六日午前十一時半汽艇にて關門兩市官民並に親戚の見送りを受け門司出帆の郵船備後丸にて神戸に向へり（下關特電）

明石總督容態

明石總督は五日正午重態に陷りたるが食鹽注射にて夜に入りて小康を得たり六日朝體溫三十八度に降り經過良好恢復の徴あり（東京特電）

總督府官制改正
警察制度の改革か

昨今問題となり居れる朝鮮總督府官制改革の實質的骨子は警察制度の改革、地方長官權限擴張に在りて這は畢竟實現せらるゝものゝ如く總督文武官併用に就きては未だ決定の運びに至らざる者の如し（東京電報）

獨逸殘艦自沈
更に賠償問題

［illegible］に對し［illegible］沈沒せられたりと報じ來れり右［illegible］省は之を否認せりとありたれば［illegible］にあらざれ［illegible］は其殘艦［illegible］抑留中二十一隻（自沈）キールに一巡）△戰艦シュレーヂエン△シュレスウイツヒホルスタイン△ハノーベエ△ドイツランド△ロート［illegible］巡洋艦三隻巡洋艦十隻［illegible］留しあり若なれば今次外電所［illegible］シゲン級戰艦六隻巡洋艦六隻及び休戰條約の更改により聯合國［illegible］沈せしめ又復自國內にある艦［illegible］の大部分を自ら沈沒して殆ご全［illegible］に關し賠償要求起り居れるが今次聯合國に引き渡すべきサッサク級戰艦の沈沒に對しても亦［illegible］

東煙新株割當

東亞煙草會社は現在資本金三百萬圓を一千萬圓に增資すべきこと既報の如くなるが右は新株十四萬株の內舊株一株に對し新株二の割合にて割當て殘り二萬株の中六千株を社內の功勞者に分配し一萬四千株をプレミアム附にて公募す可く內定せるが十七日の總會に附議して承認を求め支那方面に大活動を開始すべしと傳へらる（東京特電）

講和成立に際し青年諸君に告ぐ

陸軍大臣　田中義一氏談

講和條約の調印愈々結了し開戰以來茲に滿五年世界平和の克復を見たるは實に慶賀に堪へざる處なり獨逸調印承諾の報傳はるや佛國民は狂喜措く能はずクレマンソー氏『四十九年此時を待てり』と呼べりと云ふ蓋し之佛國民の聲にして普佛戰爭以來の**臥薪嘗膽** 初めて斯の歸結を得たるものなれば佛國民は實に感慨無量なるものあるべく吾人亦深く今日の喜びを共にせんとする者なり今や國際聯盟成りて世界改造の第一歩を進めんとす帝國が世界平和に貢獻し東洋平和の保障たるの大任務を達成せんが爲めには眞に擧國一致國家の實力を涵養すると共に活眼を以て世界の大勢に著目し偏狹なる精神を去り以て帝國の向ふ處を誤らざる事肝要なり特に予は此の機會に於て **帝國將來** を双肩に擔ふ可き青年に切望せんとす大戰に伴ひ發生せる幾多の問題は帝國の前途をして益々多難ならしむるものあり就中思想界は混沌として歸結する處を知らざる有樣なるが青年は飽迄質素剛健を以て信條とせざる可らず新思想の研究素より怠る可らず世界の大勢に順應し其の進歩に後れざる事必要なるも帝國の國體を基礎とし我が國體に於て之れを受容し得可きや否やの著眼を以て採長補短以て我が光輝ある國體に同化せしむるを要す之れ即ち帝國を益々隆昌にし同時に我が國民を幸福に導く所以なり又歐洲戰爭は正義に反し人道に悖る暴力が悲慘なる最後を遂げたる歷史にして同時に **正義人道** は實力に依り初めて其の光輝を發揮す可きを痛かに感得せしむるものなり帝國は將來益々正義の國是に向つて邁進し國家の實力を充實する事に努力せざる可らず講和會議に於て帝國は五大國の一に擧げられたるも猶ほ國家の實力を顧み忸怩たるもの少からず之が發展充實は實に今後帝國青年の努力に俟たざる可らざるなり

好景氣續かん

小山庄三氏談

講和調印後の商界は過渡期の事とて何程か氣迷ひの裡にも漸く活勢を呈し來れり予は戰後歐洲に於ける物資の **急需狀態** 並に吾國に於ける一般資力充實の實際より見て今後好景氣は少なくも二箇年以上繼續すべき彈力を有するものと信じ居れり何となれば戰後の歐洲交戰國の再建設に要する物資の大需要とわが資力の充實に基づく事業界の新活動は今後相當に財界の前途を樂觀して可なればなり例せば砂糖の如き最近の活躍は異常のものなるが戰時に於て佛獨墺の諸國を初め歐洲列強の砂糖節約は甚だしきものあり講和締結後各人の欲望が食料品たる砂糖に發したるは當然と云ふべく生絲並に棉絲が未曾有の高値を示しつゝあるも**講和後**の大景氣並に 歐米人の衣服慾より來れりと見るも大過なかるべし鐵類の如き最近の商狀は漸騰の模樣なるが予の見る所にては今後建築物の新營修理鐵道の復舊その他に要する歐洲の鐵類需要は殆んど無限と稱するも不可なき實情にあり米國產鐵の如き餘力は殆ど全部歐洲に仕向けらるべしとの豫想につき吾が鐵價も茲當分は低落を見る事なからん或は一層市價の硬調を來すやも圖り難し株界の如きも一兩年來內地と朝鮮とを問はず地方の資金の充實は買株の擲佈となり居り更に商品の活勢より來る景氣の昂揚は **投機市場** を賑はすべきが要するに我財界は茲當分好況を持續するものと觀じて可なり

內地人の朝鮮人に對する根本的誤斷（下）
同化上大なる禁物

在大邱　某朝鮮人談

日本國は韓國を征服したのでも奪取したのでもない、故に日韓併合の點から言ふても內地人が勝者でもなく朝鮮人が敗者でもない、其國の臣民たることが先後なるによつて優劣の差あるべき道理はない、畏れ多くも **天皇陛下に** 於かせられては臣民に內鮮人の別なく一視同仁であらせらるゝこと拜察し奉る、朝鮮人が內地人に較べ國家に對して權利を得る事も義務を負擔することも共に國家政策上一時的制度の然らしむる所であつて個人相互間根本的差別の原因ともならなければ又其理由に基いた譯でもない、朝鮮人と內地人とは風俗習慣の相異なれることは多い仍つて其異なつて居ることが消極若くは下劣に感ぜられることはある、然れども是は相互のことであつて自分の見地のみを以て他の優劣を論ずることは出來ない、假令事實之に優劣の差があるとしても直ちに以て根本から人的差別を付けることは出來ない譯である、朝鮮人は內地人に較べ一般に **知識程度は** 低い、然れども是は從來種々なる事情の爲め內地人よりは之を得る途が多くは遮られ或は開かれなかつたのであつて朝鮮人が內地人に較べて知識を獲得することが天然的に低能でないとは事實が證明して居る所である、朝鮮人は內地人に較べ概ね經濟狀態は貧弱である、然れども是は多く知識の相違の理由と同じく政治的な關係より來るのみならず是亦知識相違の理由と同斷であつて朝鮮人が內地人に較べて富を作ることが下手たるべき天資を持つて居ることは內地人でも言ふ者はあるまいと思ふ、斯く究めて見れば、內地人中朝鮮人を根本から劣等人物の如く斷定するのは正當なる原因がない樣に思はれる、正當なる原因のない斷定は **即ち誤斷で** なければならぬ、是余が誤斷と稱する所以である、尤も朝鮮人中には內地人に對して誤解又は邪推をする者もあつて是が內鮮人融和上妙からざる障碍となることは勿論であるが、其誤解又は邪推を惹起せしめる大なる原因は右の樣な內地人中に多くある根本的誤解であると余は信じて疑はぬのである、畢竟余の言ふ所は人間は其地位又は知識の如何に拘らず總て平等たるべきものだと云ふ主張ではない、要するに民族的差別に類する根本的優劣の斷定は內鮮人間には道理上あるべきものでなく斯る誤斷は內鮮同化上大なる禁物であると云ふことを主張する譯である。

米產增殖と東拓

東拓理事　松平直平子談

食料の增産と云ふ事は帝國にとりて緊急切要な問題であり又東拓としては內地農民を朝鮮に收容すると云ふ必要から朝鮮の水利並に開墾事業は從來とも微力を致してゐるのであるが今後は更に一層努力したいと考へて居る目下水利の方も開墾の方も總督府に出願中のもの並に計畫調査中のもの可なりあるのであるから出願中のものは許可あり次第工事に着手し **調査計畫中** のものは成案を得次第躊躇なく直ちに當局に提出して行かうと思つてゐる、然し例へば開墾の如き相當手をかけて出願すれば局つ放しにしてゐると云ふやうな方法でなく地方廳は何しろ手不足なのに仕事は非常に多いやうであるから色々の連絡事務や當局の調査の手助けと云ふやうな方面にも仕事を進め計畫案の實行に遺憾なきを期したいと予は考へてゐる **金肥の增與** 食料の增産にとりて必要があるので今春は百廿萬圓許り東拓より朝鮮農民に貸つけてゐる目下その施與田の作柄等を調査してゐるが果して幾干の成績を擧げるであらう一反步に豆粕二枚或は一枚半若くば一枚と云ふ風に入つてゐることがその施與田の米の增收は秋になつて何程その効果を見て明年は適當の方法により今年の三倍乃ち約四百萬圓近いものを貸附けたいと思つてゐるが今年は時期の關係上計畫の實行を急いだため豆粕の買入れにもまごつきたりこの事につき兎角多少手遲ひもあつたが明年の分から萬全を期してやりたいと考へてゐるのである

關稅改正希望（下）
京城商業會議所の希望

撤廢の部（續き）　洋服、帶類、帽子、肩掛及襟卷、メリヤス肌衣其他、洋服用シャツ、カラー及カフス、袴釦、手袋、靴足袋、日本足袋、革製靴其他、草履、下駄其他履物、釦、鉦飾料品其他の衣服及附屬品、煙草用紙、洋紙並印紙製圖用紙、半紙及美濃紙、唐紙、唐紙其他紙、罫紙及帳簿類、卷紙及封筒、紙口及用紙、帳簿及手帳、卷紙及書簡箋、墨汁、封筒、板紙、鉛筆其他文房具、古新聞紙、印刷物、書籍及新聞、寫眞用臺紙、紙製箱其他紙製品、鐵及軟鋼（塊及錠、條及竿、板、電氣板、線、電纜線、線索、薄鐵、筒及管、古鐵及屑鐵）鋼（條及竿其他）銅（塊及錠條及竿及板線其他（鉛、錫、亞鉛、ニッケル、水銀、眞鍮及黃銅其他の金屬、針類、鐵釘、螺旋釘、其他釘類、軌條同附屬品、橋梁材料、戶及家具用金具、刃物、錨、及鎖、ストーブ、活字、錢器及釜、貨幣匣、金庫鐵器、バケツ其他鐵及鋼製品、銅及眞鍮製品、鉛製品、錫製品、アルミニユーム製品、其他金屬製品、鐵道機關車、鐵道客車貨車、自轉車、汽船及帆船、人力車其他車輛及船舶、度量衡器、時計、掛時計、懷中時計、兵器、獵銃及附屬品、寫眞機及附屬品、樂器及附屬品、測量器、醫療器、其他器、汽罐、電信電話器、電燈機械、瓦斯用機械、印刷器、消防器及附屬品、喞筒、鑿岩機、精米機、繰綿打綿器、其他の器械、工匠具、農具、葉煙草、卷煙草、紙卷煙草、雨切、口附、卷煙草、其他煙草、毛皮、生皮、熟皮、馬尾毛、其他皮毛、骨角類、石炭、コークス其他鑛物及鑛石、漆器、窓硝子、硝子鏡、其他の硝子製品、馬具、鐵道枕木、其他の木材及板、竹材、瓦、煉瓦、模及障子、其他の建具類、セメント、石灰、建築用品、木炭、薪材、漆喰、糊及製品、樽桶、柳器、家具、漁網、機械用帶及管、提灯、ランプ及部分品、マッチ、化粧石鹸、洗濯石鹸、香水香油類、齒磨粉、洗粉、髮附油、其他化粧用品、ブラシ、竹製品、藤及柳其他木製品

從價一割　白墨、柳行李、鞄其他旅行具、洋和傘、眼鏡及眼鏡入函、玩具、人造其他肥料、牧畜器、護謨器、ダイナマイト、セツゲナイト其他爆發物、護謨及同製品、皮革製品、セルロイド製品、陶器及磁器

從價二割　菓子、其他糖菓類

一石十七圓　清酒、其他日本酒、日本燒酎、味淋

朝鮮關稅の改正が必しも上記のものに限らざるべきは明にして假令原則として輸入品には內地現行關稅率を課するとするも對支那貿易に關しては朝鮮の事情に照し例外を設けざるべからざることあるべし何となれば支那より輸入しつゝある麻布絹布金巾鹽及燒酎の如きは其の價額に鑑み［illegible］ざるものにして而も其等原料は朝鮮に於ても豐富に生產し得るものなれば關稅の保護により其等の產業を發達せしめ以て輸入を減退せしめ得ることは明かなるものあれば內地現行關稅は綿絲物に付ては從價百斤に付き九十圓乃至五百廿圓を課し織物は無稅又は從價百斤に付き二圓乃至五十圓を課しつゝあり朝鮮に輸入せらるゝ此等支那織物が內地關稅によりて幾何の課稅を負擔すべきかは明に知るを得ざれども少くも麻布には更に稅率を加重して適當に保護すべき必要あるを感ず支那燒酎の輸入は內地燒酎と共に最近發せられた酒消費稅の稅率を加ふるに若干の保護率を課すべきは言を俟たざる也食鹽は年々支那より百萬圓以上を輸入しつゝあり食鹽の如き日用の必需品は之を無稅となすべきが如きも朝鮮の鹽田が頗る有望なるに當局が屢々辯明せる所にして今日の如き多少の保護稅を設くの要あるべし尙は製革業及皮革製造業は朝鮮の重要產業たらしめざるべからざるに拘らず目下外來の競爭の爲めに經營難に陷れりと稱せらる三割以上の稅率を［illegible］必要あらん

電燈引上
程度は如何　近く決定か

京城電氣會社にては來たる八月より現在契約にかゝる撫順炭の供給杜絕へ高價なる內地炭並に開平炭を使用する事となりし結果年額 **約四十萬圓** 近き支出增を餘儀なくさるゝに就き同社は電氣瓦斯電車の各方面に亘り料金の改定の意向あり然も其の支出增加の大部分は電燈料金の引上げにあり右に就ては木本專務は頃日來數回遞信局を訪問し會社の現狀と炭價暴騰に於ける經營の狀態に就き委曲陳述する所ありある程度までの料金引上の許可を內申し居れるらしく一方當局に於ても這回の炭價引上げはある點に於て會社の死活問題とも見るべきに就き無下にその **申請を却下** する如き事はなからんも問題は會社にて內申し居れる程度の許可を與ふるや否やにあり目下電氣課にて關係事項調査中に就き遠からず當局の意見も決定すべきが會社にては正式料金引上申請となるべく居れる電燈料金の値上は物價高の折柄市民にとりて少からざる苦痛なれど不可避の支出增加に對してはある程度までの料金引上げは止むを得ざるべきが尤も當局にては會社の申請通りに許可すべしとは思はれざるもその程度は **一割より** 四割位の間になるべく實行は八月若くば九月よりとならん模樣なり

京畿道共助會
漣川郡に九箇所設置

朝鮮は古來地方により鄕約の旨趣能く行はれ長幼其の序に從ひ一鄕を擧げて渾然一家の觀を呈したるも近時時代の變遷と共に其の良風地を掃ひ社會漸く輕薄に流れつゝあるを以て京畿道にては昨夏以來民風の振興を圖り養老及貧窮者の救濟を爲し又早婚の弊を矯むる爲め里又は小部落を單位として各地に共助會なるものを組織せしめ居れるが昨年中に於て廣州郡に六、楊州郡に九、加平、楊平、安城に各一箇所、江華島に二箇所の設置を見之れが設置以來規約の旨趣に從ひ七十歲以上の高齡者には祝賀金を贈り又冠禮の際に酒宴を廢して貯蓄金とするなど漸次其の効果顯はれつゝあり殊に今回の騷擾に際しても會員中地方官憲を援助して頑迷者の解諭に鎭定に活動したる者少からざるを以て京畿道にても之れが增設を慫慂するの方針を採りつゝあるが今回漣川郡にも九箇所設置することゝなり目下役員選衝中なれば近く設立を見るべし同會は當局より一切會費を徵せず會合に要する費用等は特志家の寄附金に依り充當し郡に聯合會を置き郡守は之れが顧問として斡旋するの組織なりと

取引所手數料引上
許可指令近し

仁川米豆取引所より總督府に許可申請中なる取引所手數料引上の件は農商工部商工課に於て調査中なりしが百石に付き三圓を六圓に引上の件は［illegible］其他の條件を附して六圓に **引上方を許可** する事となり數日前課の手を經て［illegible］其條件を交渉中なりしが愈々その指令は京畿道知事を經て兩三日中取引所に交付せらるゝものと見て差間へなし

影響如何　仁川の取引所手數料値上げ許可は愈々近かるべきがその影響に就き其筋の觀測を聞くに株價の現在百六十圓見當は手數料値上を見込みての相場なれば寧ろ買側に於ては多少値上の前途を危み居りたる模樣につき愈々現實に許可を見る事ならば有力なる強材料として實氣の勃發は當然來るべし唯その程度は人氣より見るも目先同株の變動高は發れ難く取引所收入好調の前途は［illegible］株の事こて容易に端倪し難し又取組高の今後は如何と云ふに取引所の賣買手數料百石三圓と云ふは元來安價に過ぎ居ると今日の如く米高となり **値幅の大** を示すに至りては百石三圓位の値上は取組高に及ぼす惡果微なるべしと思はる尤も手數料の低率は市場の賣買の仕掛けを手輕ならしむるの事實は素より否み難きも東京の現行百石十一圓に比し仁川の六圓は鮮人筋財力膨脹の今日より見て大した惡影響なからん

森林鐵道進捗

資本金一千萬圓の朝鮮森林鐵道會社は客月二十八日東京に於ける發起人總會に於て大體方針決定したるが株式の割當その他も近く正式に決すべきも公募に附するや否やは未定なりと

京畿判任新任

京畿道廳及び同管內府郡在勤內鮮人二十五人は六月三十日附を以て道府郡書記に新任したるが道廳在勤者に對しては五日夫々辭令を交附し他は在勤地に向け辭令を發送せり

東拓移民應募

東拓に於ける今期移民募集成績は頗る近年々增加を來し六月三十日迄の應募人員は下關出張所五百五人京城同支店に於て百十二名計六百十七名の多きに達し居れりと

人事消息

△內村安太郎氏（平壤慈惠醫院長）六日夜入城浦尾へ
△松本代議士　六日夜奉天へ
△中野潔氏（海州鮮銀支店長）六日夜入城不知火へ
△吉植庄三氏（東拓咸興出張所長）六日夜退城
△岩崎虎次郎氏（殖銀仁川支店長）六日夜退城

鳥瞰錄

五日始業式を擧行した京城製絲會社は資本は僅五十萬圓であるが株主に一人の內地人を交へぬ純粹の朝鮮人許りの會社であるが『朝鮮人は朝鮮人だけで』と云ふ樣な傾向があり殊に實業界に此風が漲つて居る樣である△曾て朝鮮人許りであつた漢城銀行內に近頃ちらほら內地人の姿が見ゆるのでさへ一般鮮人は快く思はない樣に云ふ者がある位だ△之れが善い傾向であるか惡い傾向であるかは知らないが今日迄內地人側で『朝鮮側の資本を仰がないでも…』と一所になるとを忌み嫌つた傾もあつたと云へば大なる間違ひはあるまい△五日の晩の南大門驛は朝鮮に緣の深い秋山雅之介博士や藤原正文氏が入城するし、米國から歐洲方面視察の途に上る田中庶務課長が出發するし△京城記者野球團が釜山遠征に出掛けるので可なり賑やかであつた△例の無頓著な博士が皺クチャの詰襟に鳥打帽を橫つチョに被つて出迎への連中を捉へて高談放語する樣は昔ながらの磊落振りを發揮して遺憾なかつた△大勢の見送り人の間に交つて田中課長の無事平安を祈る一人の美形があつた△逸早く見付けた韓相龍君、小原長官の袖を牽いて『奥樣が見送つて居らるゝのに○○が見送るとは怪しからむですね…』長官はウフフ、、と笑つたが何と答たやら聞ねなかつた

仁川　伊藤稀一郎

仁川松坂町　吉岡酒釀造場　電話八〇二番

仁川　熊野惠賜

仁川驛前　㊥增井運送店　電話五三九番

確實は弊店の生命にして信條なれば取引御安心を乞ふ　材木商　城山組　電話長二〇九番　振替下關五五一番

京日案內

朝鮮及滿洲社　雜紅村　朝日平吉　右之者先月來入社致居候處都合に依り今回退社致候に付自今本社と關係無之此段謹告致候

古本熱心高價買入　是非御試賣を乞ふ　電話三一九五番　△御報參上　△本町二丁目　△群書堂

貸家　事務所向十疊二六疊三　三疊二四疊半二　場所本町一丁目元春の家跡　電四九八番　大和軒

小使募集　內地人　應募者は來る十二日迄履歷書携帶出頭の事　市內に確實なる保證人を要す　南大門通一　朝鮮郵船會社調度課

▲集金外交員募集　府內ノ事情ニ通ジ外交ニ巧ナル者　希望者履歷書携帶午前本人來談　長谷川町七六　京城殖産會

測量設計製圖請負　土木建築水利鐵道水力電氣開田等　大和町　京城工務所

◎結球白菜種子　本場直接仕入　芝電信局街　川上洋行

電話に金融　即時低利立替　買入極秘に御取扱可致候　櫻井町一丁目　電話一六八參　增田

◎土地家屋賣却　蓬萊町附近約二百七十坪　持主　電一六六六

◎岐阜提灯　本場製品　一個デモ卸直段デ賣マス　京城南大門通三ノ九二　セイカン中外商事株式會社朝鮮出張所

恩給立替　金は證書引換に御渡可致候　地方は規定書送呈　京城若草町郵便ポスト前　電參〇壹壹　西村商會

社員高給招聘　外務　希望者履歷書携帶來談地方送れ　京城黃金町貳丁目　日清生命朝鮮支社

建築設計製圖　迅速明日　京城旭町一丁目　電話二四六五番　相澤工務所

◎看護婦募集　希望者は本人來談高給を支給す　仁川　小倉病院

男女事務員採用　內勤　希望者ハ履歷書持參來社アレ　京城長谷川町五八　帝國公債會社支部

京城　合　大阪　木戸錢　四十錢　◎割引料金　廿五錢

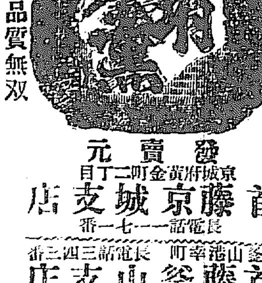
軍隊鐵道拂下品　其他新古品　拂下品一式　新古夏服　事務服　工場服　其他　新古和服　物品　寢具　右多少に不拘御用命被下度願上候　和洋衣服商　金子奧市商店　京城府龍山元町二丁目　電話龍山長壹〇五番　振替口座三八一三番

萬年ペン修理と販賣　京城本町　電話二六　振替一二三　ウツボヤ本店

ハンカチーフとタオル
▲ハンカチーフ（箱入進物用）　半ダース　壹圓七拾錢以上　壹ダース　壹圓九拾錢以上
▲本麻ハンカチーフ　壹ダース　拾圓以上　半ダース　拾圓以上　半ダース　婦人用　七圓以上
▲タヲル　壹ダース　參圓以上
箱入進物用　三本入　九拾五錢以上　五本入　壹圓五拾錢以上
京城本町　塚谷洋品店京城出張所

樂器と蓄音器は　京城本町一丁目（電氣會社前）　山葉樂器朝鮮代理店　發賣元　山口樂器店　振替京城五二一五番

金溶琛內科醫院　京城府貫鐵洞一一九番地　電話二四二四番

醇良無双清酒

衛生無害品質無双
發賣元　京城府黃金町二丁目　首藤京城支店　長電話一一七一番
釜山幸町　長電話三四三番　首藤釜山支店

資本金壹千萬圓　頭取　安田善三郎　株式會社百三十銀行京城支店　京城本町二丁目　電話長五八番　振替貯金京城一一九四三番　銀行一般の業務何卒御便利に御取扱申候　爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有

內科　胃腸病科　診察夜九時迄　石川醫院　京城本町一丁目　電話一二三七・二九〇九番

ヰルヘルム型… トフユースランド型戰艦四隻 ウエストファレン型四隻ドイチランド型八隻其他多數の戰艦巡洋艦全部沈沒說ありこ報じ來りたるも更に後電に據れば獨逸海軍キール軍港内の…戰艦十隻巡洋戰艦五隻輕巡洋艦八隻驅逐艦五十隻を聯合國に引渡し（英國スカパフロー港に）門速力二十節半、△チューリンゲン△オルデンブルグ（二萬二千八百噸主砲十二吋十二門速力廿）…△ヘルゴランド△ケニヒ…バッハ（二萬一千八百五十噸）其他カイゼルフリードリッヒ型一萬一千五百五十噸の舊戰艦五隻等武裝中止が將來常備軍の勢ひこして維持するこごを許されたるロートリが既に英國に於ける抑留艦を自國は既に英國に於ける抑留艦自沈せるものなるべし而して獨逸の目的迄にあるや推測し難きも…

講和委員の歸朝

西園寺侯一行は九月中に　牧野男は尚暫く滯在せん

ベルサイユ宮殿戰爭の間の大評定は既に滯りなく濟んで世界講和の大舞臺は幕を落した徐待たるゝのは平和使節の一行我が西園寺侯爵、牧野男等が晴の歸朝である何時頃になろうか某氏は語る『兎に角西園寺侯は調印が濟むこ程なく

巴里を出發 される筈で既に郵船會社に便船の都合を命じたこいふ話である、侯爵こ牧野男が一緒に歸るこいふ樣な噂があつたが恐らく牧野男は尚ほ暫らく滯佛してブルガリヤに土耳古、墺太利こ最後の談判を行ひ之が調印を見届てから初めて歸朝の途に上る事こなるべく

侯爵よりは 遲れて來られる事は確實である、船の都合は凡て郵船の倫敦支店で定めてゐるので當方では未だ判らぬが多少後々の準備もあり郵船の船では七月廿日に馬耳塞を出帆する熱田丸があるから多分それから知らぬ、其前の船などは六月三十日に馬耳塞を發した筈だがそれには未だ乘船されぬらしい、然し

最も重要な 又我々特に著京の日取を鶴首して待つて居る講和條約の正式文書を持つた急使が歸朝する事で隨員の中の一人が此の命を受け多分廿九日巴里を出發した筈だから卅日馬耳塞發の伊豫丸に乘つたこすれば地中海を經て航海四十五日頃神戶へ著する豫定である即ち

獨逸の講和 委員長エルツベルゲル氏を首め敵味方の講和全權委員が互に調印を結んだ講和正文が外務省に著くのは八月十六日か十七日であらう尚隨員中の加藤恒忠氏や原田外交官補の一行は最先發こして六月十日大阪の喜多又藏氏は十八日何も巴里を出發したさうだ』云々

生絲は三千圓臺

に上りさうに成つて來た　＝朝鮮蠶業の現況＝（上）

一昨年迄は七八百圓の間を上下して居つた生絲が近來では二千圓を突破した許りでなく百圓！二百圓！こ漸次に上つて今は二千三百四五十圓に上つてをる而し製絲の玄人筋では生糸は

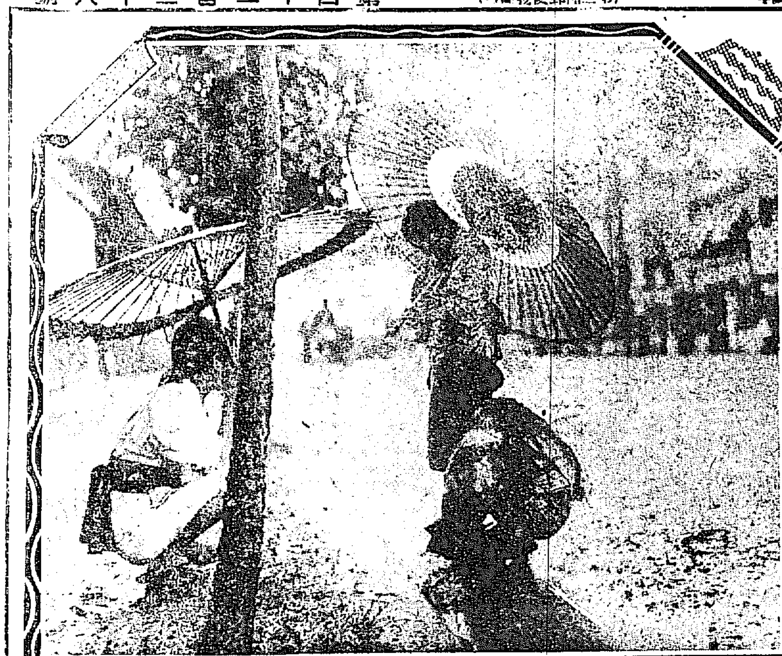
綿絲の五倍 の內値さへ保つておれば大丈夫、五倍を突き拔くこ氣味は危いのだこ云うて居る此分だこ綿絲を今五五百圓に見ても二千五百圓迄には幾らも餘地がないし綿絲の此頃の狀況だこ生糸は三千圓に上るのも遠くはあるまいこ觀察されて居る。綿價の暴騰に付いては觀方により種々あるが大體に於ける原因は戰時中佛蘭西や伊太利で發盤が不可能であつて

生産が激減 したのに砲彈包裝こ云ふ意外な新需要が出來たので一時に騰貴したのこ戰爭で景氣のいゝ米國の勞働者がドン〳〵絹物を使出したので自然に需要が殖ゑたが戰爭の終局こ共に其の需要が一時に激減するかに豫想されてゐたにも拘らず戰爭が片付いても米國の景氣は戰時以上の好景氣でワイシヤツや

靴下は悉く 絹でなければならないやうに成つて來て生絲の需要は減少所か反對に非常に增加したのこ今春內地の一流の製絲家こ横濱の生絲輸出商が合同して米國に於ける絹織物業の現況を視察した結果生絲の需要に底強い確信を持つ樣に成り從來は米國の事情が稍しく判らない所から小さな波動にも動かされてスグ操業短縮こか

原料買入れ に躊躇して居つたのが全然無くなり何處迄も氣強く製絲せむこするに至りたるに內地では今春近年にない霜害で桑葉を手酷く傷められ延て春蠶が五六分方も減收こ來たので絶大な需要を控へた大製絲家は非常なる意氣込みがあるにも拘らず今度は原料難に迫られ言はず語らずの裡に買煽りをするので繭の値も

市價以上に も釣上げられ、繭がある殊に內地では品種改良の結果解舒良好こなり工女の工程が從前よりは餘程捗るやうに成つたので徐々原料不足に逐はれて內地で買損つた製絲家はドン〳〵朝鮮に來て其の不足を補はむこする樣に成つて來た。然らば朝鮮には果して此不足を補ふだけの生產があるか？



小降りの間に＝本町所見

獨墺人の財產調査

故ベルツ教授の遺產もある　上等な自動車が僅に六百圓

東京に於ける敵國人財產管理の衝に當る工務課へは每日敵國人の使用人等が押し掛けて

私達の運命 は何うなりますかこ聞いたり『獨逸人から借りて居る土地建物は取上げられますか？』抔心配して來る者管理令發布から十日目の四日が財產申告期限だが、獨逸大使館こかシーメンス會社こかの頭目は、未だしで、二日までに僅か三四件申告して來た許りであるが視聽こ府では今日邊から積極的に調査に出掛ける筈で、其結果大使館等が

幾干に値踏 みされるか、公賣を待つ者等の知らうこする所が解らう、工務課の同調査係は曰く『同じ獨逸人の財產でも日本人に關係のある者は成丈け好意に解釋して便宜の方法を採る事にならう、例へば學習院教授ハイゼ氏の住宅（小石川高田老松町五十九）の如きは三省堂の百科辭典編纂所に借られ齋藤こ云ふ人が居る、之等は

一日管理こし たゞ上吏に知事から貸される形式にならうし、又國籍は獨逸人でも其實日本人である者（妻等）等は、特別に管理せずに濟ます樣な事にならう、元岸博士の妻たるルイゼ夫人の一萬圓の財產は何うなるか、之等も寛大な處分に出るやうにならうこ思ふ、次に獨墺人の使用人たる日本人等に對しても同樣にはすまい、之等は總て各管理の地方長官適宜の命令を發する事になつてゐる』こ申告の

調査の終結 は六日頃になるう、尚ほ、元帝大教授有名なベルツ博士の遺產が、四萬圓程銀行預金になつて居るが之は勿論管理され、結局國庫の收入こなる又此一日に日本橋區內町の內國自動車から、頗る上等な獨逸人の自動車を一臺預かつて居る、之は府で引き上げて買ひ度い、但保管料其の他で六百圓こは原藏したいこ申し出た六百圓の自動車は如何にも廉い（東京）

婦人も運動せよ

美容を損ずる事無し　適當なる運動法

朝鮮でも近來婦人の體育が頗る唱道されて來ました、夫に就て某女史は語る『現在日本に行はれますのは皆瑞典式の體操で其れが武術體操、教育體操、遊戲體操、醫療體操の四種に別れてゐます、それで此

體操は瑞典 の文學者リングが十八世紀に祖國の衰微を嘆いて、これを再興したいこ云ふ目的から考へ出したものであつて日本は勿論英米兩國でも專ら此體操を行つてゐます、併し何れも、瑞典のもの其まゝではなくて、英國化したものこなつて其の國に行はれてゐるのです、日本でも體育研究のため洋行せる方も多く盛んに

彼國の方法 を讃美されますが、純粹な瑞典式は少し考へ物だこ思ひます、如何なる種族でも骨も筋肉の數も異なつてはゐませんが、習慣や生活法や體質や食物などの異なつてゐる日本人には瑞典のものをそのまゝ行はせるこ云ふことは少し亂暴すぎるこ思ひます。また日本人は坐つてゐるから體育上いけないこ云ふ方もありますけれど、これも一概にさうばかりも申されません、何故なら此のまゝの生活法で日本人は

幾十年かの 間過して來たのですから、容易に此の永い間の習慣が改良されるものではないこ思ひます、さうして生活の改良が容易でないこすれば醫學生理學の研究が必要になつて來ます、よく世間の人々は女が運動するこ第一お轉婆で男のやうな武骨な體になるこ申したり、女自身もさう云ふ風に信じてゐるやうですが、これは全くの誤解で男女の

筋肉の組織 は全くちがつてゐて決して如何程運動しても勞働しても男のやうにはなつたりすることはありません、在來日本の婦人は美を損ずるこ云ふ意味から勞働や體操を嫌つてゐました、けれ共この弊は勞働や體操を本當に理解したらなくなることだこ思ひます、何でも理解すれば同じです、けれご無趣味のやうな運動でも判つて來れば面白いものです、各自に此の面白味が解れば運動は個性化して來ます、さうして

自分の身體 を自分でこう云ふ風に處置してい、かこいふ事を考へるやうになつて來ます、私は此處に體操の目的があるのだこ思ひます、既に各自が此處まで達すれば一つの運動の系統が出來ます、でこの系統を頭において行へば自然こ日本の婦人に各年齡に應じて適當な運動が發見されるこ思ひます』

各地の河川氾濫

鐵道線路の被害＝橋梁の流失　交通杜絶の爲め被害明ならず

兼二浦方面 兼二浦は五日夜來の降雨にて雨水停滯し明治町の一部こ山家屋の外全部浸水し濁水漲り不潔極まりなく全市混亂せるが六日朝に至り雨歇みたれば減水しつゝあるも人心恟々たり夜中の浸水なりしかば商品等の損害夥しからね模樣なり（兼二浦特電）

平澤方面 先日來の降雨の爲め平澤安城間の內南面附近は六日正午折からの滿潮に際し柳川河氾濫し目下工事中の築堤の破壞及び橋梁流失の虞あり取敢ず土俵を以て應急工事準備中なるも引續き降雨歇まざれば鐵道線路にも多大の被害あるべく平澤市內は目下浸水し市民はこれが警戒に努めつゝあり（平澤特電）

慶北方面 慶北英陽郡及び青松郡方面は二日以來の降雨にて各所の河川は八尺以上に增水し總ての橋梁は殆んど流失し英陽邑內を中心こして各方面共交通杜絶の有樣なり

交通杜絶 青松地方は三日以來の大降雨にて各所共被害夥しからざるが如きも交通杜絶の爲に其の狀況不明なり

湖こ化す 京仁線方面 五日來の豪雨の爲め京仁線も各所に出水を見六日午後迄に一面の湖こ化せる個所少からず六日夜まで降り續かば或は大洪水を惹起するやも計られずこ

增水二丈 鳥致院附近 鳥致院地方に於ては六日朝より降雨頻りにして附近河川の出水二丈に及び市場に浸水せり猶ほ引き續き增水しつゝあるも附近鐵道線路には未だ何等の異狀を認めず（鳥致院特電）

御慰勞宴に召さる

本七日宮中千種の間にて　親しく御慰勞の御言葉を賜はるべし　光榮に輝く海軍將校

光輝ある世界平和に與つて力ある赫々の武勳こ共に凱旋したる帝國海軍將校御慰勞の思召を以て七日宮中に大祝宴を催させ給ふ議は先日確定し夫々御召狀を發せられたるが祝宴場は特に宮中千種間を之に充てさせられ陛下には正午大元帥の海軍御正裝にて出御畏くも御慰勞の御言葉を賜はる由

前獨帝の身代りに

審問を求めた前獨逸の宰相　クレマンソー氏に覺書を送る

開戰當時獨逸の宰相ベートマンホルウェッヒ氏は講和會議長クレマンソー氏に覺書を送り前獨帝を審問せずして代りに自己を審問せん事を求めたり（巴里電報）

漢江漸次增水し

二丈八尺に及ぶ　刻々水量を增加す　憲兵分隊及び消防全部出動警戒怠り無し

連日の降雨にて漢江の增水甚だしく六日夜九時に至り鐵橋下に於ける增水二丈八尺に達したり是より先き舊龍山の沿岸は泥水氾濫のため浸水せる家屋多數ありしが未だ他所へ立退くほごにはあらざるも雨は降り歇むべき模樣なく床下を浸せる泥水は漸次床上に及ばんこしつゝ、あるより住民の恐慮一方ならず土嚢を積み上げたり荷造りをしたりして夫々避難準備に取掛り居れるが滿鐵社宅附近の浸水を免れ難し又漢江は例年增水三十丈に達すれば沿岸一帶に氾濫し居りて今の處僅に三尺を餘すのみしかし沛然こして降り注ぐ雨は刻々水嵩を加へつゝあれば憲兵分隊長は新舊龍山の消防夫全部に出動を命じ何れも必死こなつて警戒しつゝあり尚六日は雨中も厭はず京城より藝妓を連て水見物に出掛くる者等あり漢江鐵橋附近は殊の外賑はひたり（六日夜十時）

櫻町心中

劇藥を仰ぎ　短刀にて咽喉を突く

木浦櫻町遊廓住吉亭抱へ藝妓金次事下關生れ貝塚しづ（二二）は六月廿日其筋の許可を受け店出をなし五年間二千圓の前借契約ありしものなるが

國許にて馴染 こなりいたる下關新地町御手洗金助（三七）こ六日拂曉合意の心中を爲せしが兩人は深夜西洋格劑を飲みたるも死に切れず苦悶しつゝあるを家人に發見され大騷ぎこなりたるが急報に接し驅付けたる木浦警察署林田警部臨檢し死したる女は

主人に引渡し 男は木浦病院にて手當中なるも生命覺束なし尚男は四日渡鮮し次こ同行して木浦に到り柴田屋に投宿せるが同人は下關市山鹿組の組員にて現に同組より行方搜索中の者なりこあれば裏面には紛糾せる經緯潜む可し死んだ藝妓の金次は先月大同生命保險會社に一千圓の保險契約を爲し居りたりこ（木浦特電）

豹こ轢死 慶北淸道郡豐角面花山洞張永哲長男快萬（二）は六月二十八日午前一時頃實母こ就寢中大豹に攫はれたるにぞ洞民四五十名の救援を得て附近を搜索せるに翌朝に至り自宅を去る約一丁餘麥畑の中に於て快萬の頭部を發見したりこ▲漆谷郡北三面仁坪洞金錫喆の長男源澤（三）は去廿九日午前八時京釜線洞內附近の線路を横斷せんとして誤つて汽車に觸れ轢死を遂げたり（大邱）

運動界

京城軍の大捷

朝來風强くして曇り勝ちなりしも雨降らず京釜兩軍は午後一時大正公園に乘込み釜山芥川社長の佐々木慶南道長官の挨拶あり恰も來釜中の牧山團長の始球式に始まる先づ京城軍より攻勢に出て兩軍共善く攻め善く守りたれごも釜山軍遂に利あらず同四時九對三を以て京城軍大捷す觀衆數千を算し頗る盛況を呈せり（釜山特電）

ね小便と 小便近き人へ
驚く程キクミ
毎日來る新發見の療法あり今回人助けの爲めハガキで申込の方へ無代進上す 全快者の禮狀が毎…
東京市京橋築地町 救世院 電話京橋三九七六

珍籍肉筆畫 極彩色優美三錢切手七枚送れば直に密送す 東京神田裏猿樂町 廣業社

商標 三矢酢造場（最上淸酢）
◎三矢酢は夏季に至るも絶對に變味せざること
◎三矢酢は朝鮮釀造品評會出品して優良證を受與せられたる唯一品なり
◎釀造場を擴張し一般の御注文に應じ可申候
（植山本家）京城本町五丁目 電話〇七五九番
三矢酢特色

時計貴金屬指輪眼鏡商 三浦天龍堂 京城本町二丁目 京城銀行前 電話一〇〇二番 振替京城三〇四
地方の御注文は代金引換にて送る

最新刊

書名	著者	定價	送料
朝鮮圖書解題	總督府編	定價武圓七十錢	送料二十四錢
兒童語學の研究	澤柳	一八〇〇	一八
手工科新教材集成	岡山秀吉 簡易木工編	三〇〇	一二
活躍西伯利	松井廸右衛門	二〇〇	八
四季の趣味	島野幸久	二八〇	一二
生活平安	村島	一五〇	八
鴨綠江林業誌	鴨綠江採木公司編	定價武圓三十錢	送料二十錢
自己を中心として	森田公美	一五〇	八
平和の靑年	佐藤鋼次郎	一〇〇	六
巴里の三十年	淺岡本葉	八五	四
消風物語	村松梢風	一五〇	八
硯滴女子百文	大町桂月	一七〇	八
蔭濁めぐり	石上露之助	一二〇	六
俠骨三人男	眞山靑果	價一圓八十錢	送料八錢
山獄めぐり	石上露之助	一〇〇	六
時論眞義まで	大井冷光	六五	四

京城本町一丁目 大阪屋號

諸車製造 樫板卸商 村上圣三郎 福岡市上土居町 電話三二五番 振替一〇七七

內科 小兒科 入院隨意 毎日五名を限り施療す 醫學博士 古城憲治 金澤醫學士 打田義芳 京城明治町一丁目 電話二四番

釜山商店案内

酒精 燒酎 西貢米 碎米 大豆 砂糖 麥粉 食料雜貨 福榮商會 釜山埋立新町

賣れる賣れる 飛ぶように賣れる サンエス ウオタマン 萬年ペン 釜山本町一 岩瀨 電話五五番

青竹直輸入販賣 豐後石炭一手販賣 海產物肥料商 左官用海草 萬荷受問屋 釜山高島町 三谷商店

糸物類專門 島田糸店 電話五七八

長岡商店

洋鐵 鋼鐵 道船舶 建築 土木 材料其他工業諸器械附屬品商 角野商店 釜山辨天町 電話三三三番 振替京城一三九

石鹸界之覇王 スマートシトロン 精選品質本位 釜山草梁 トーマス 株式合資會社

月刊 洋酒・罐詰 糖粉・官煙 釜山 あづまや商店 電話三五九番 振替京城三九番

京城府明治町一丁目（本町江戸川横より入る）電話三七八番 內科 小兒科 入院隨意 チアテルミー科（普通病室 隔離病室）中島醫院 院主 中島貞信

男女兼用 りん病は藥では治りにくい 專賣特許 痳病消から根治器 腺炎コシケ消カチ 數十年の痳病が自宅でわけなく根治 又生殖器諸病、短小、包皮等は自宅で手輕に速治す 說明書進呈 東京京橋區本材木町三ノ五 新療法研究所 支部 大阪北濱町 名古屋花車町 函館春日町 大和町一ノ四九 奉天市富士町十一

腦病と神經衰弱奇效 靑山腦病院長處方にて一切の腦病頭重く時々痛み眩暈し嘔吐あり…記憶力缺乏元氣…

腦丸 腦に故障あるは出世の妨 本舖 山崎帝國堂 東京市神田區花房町 大阪東區高麗橋支店

神經衰弱 生殖器病患者に急告 恐るべき手淫の害毒の爲に人生最大の幸福を失ひ神經過敏 頭重 頭痛 眩暈 思考力減退 記憶力減退 頭内朦朧 陰萎 遺精 早漏 發育不完全等に苦しむ方は至急本院に申込まれたる專門藥ノイラの說明書無代進呈す 藥價十四日三圓五十錢 廿日七圓六十日十三圓九十日十九圓送料卅錢 東京神田三崎町二丁目一番地 電話本局一六四六番二一三九番 陽春堂藥院

人參エキス 御用 陸軍 名支店及全國有名なる藥店に販賣仕居候 御爲一般の店に品切の節は本店へ御注文願上候 朝鮮京城本町 津村兄弟商會 電話一四八〇番 一八七〇番 振替京城三一五一番

外科 皮膚科 瀨戸醫院 京城旭町二丁目 醫學士 瀨戸潔（診察夜九時迄 電話四九八番）

みだれ咲き

第八十回 島山碧波作 森田久畫

繼母の冷遇酷待に堪へ兼ねた山中家の長子龍雄は、心の奥に決めて居たとは姉にも打ち明けなかつた、否な姉に打ち明ければ共に邸を出ようと云ふに極まつて居るから一人心を決して家出をしてしまつた。

『僕さへ居なかつたらお母さんも姉さんを愛して下さる程度が違ふだらう、僕が邸に居れば女と違つて萬事に氣が置けるからあんな冷酷なお心になるのだらう』

至極單純な考へを持つて邸へ歸らなかつた龍雄は、其の夜は遲くまで市中を歩き廻り遂に一夜を日比谷の公園内に愁つてしまつた。

『一と目朝鮮に居るお父さんに逢ひ度いが、旅費を持つて居なくてはどうすることも出來ない』

彼れは日比谷附近のミルクホールへ入つて我身のことや姉のことを考へて居たが。

『さうだ徒らに邸を出たばかりでは何にもならない、是れは僕の身體を犧牲にしてお父さんやお母アさんにお願み申さなければ駄目なんだ』

斯う思つた彼れは、ポケットより取り出した手帳へ細々と遺書を認めた、自分の亡き後は姉を可愛がつて呉れるやうにと新しき母への遺言狀を認めて死の覺悟を極めてしまつた。

『死所は何處にしよう』

彼れは死場所を考へて居たが、ハタと膝を叩き。

『さうだ、お母樣の寃罪も乾さなければならぬから高輪の家の墓場にしよう』

斯う思つた彼は、直ちに青山墓地なる二階堂家の墓前で割腹をしようとしたのだ、世間と云ふものを全然知らぬまだ十六歳の少年は、我が身を殺して姉の苦を除かうとしたのだ。

『さうだ夫れに限る』

彼は潔く自認しようとした、けれども天は此の少年を殺さなかつた、姉思ひの健氣な少年を無殘と殺すやうなことはしなかつた、其の時恰度墓參に來て居た祖父の二階堂伯に制止されたばかりか、懇々と其の不心得を諭された。

『夫はお前の量見がまだ若いのじや、今死んだ心算で姉さんやおつ母さんを保護して上げる氣になるのじや、俺の口から斯う云ふことは甚だ云ひ難いことだがお前のお父さんは去年の秋頃から長い／＼惡夢を見て居られるやうじやが、お前は其の夢を覺まして上げる氣にならんか、人間は死んだ氣で事に當ればどんな事でも出來るじやないか、第一前途のある身で死んでしまつたら、どうして御上への御奉公が出來るのだ、十六歳にもなれば、モウ少し堅固の思想を持たなければ不可ん』

諄々と説き聽かす老伯の言葉に始めて我が身の輕擧を悔いた龍雄はハラ／＼と落涙して。

『お祖父樣、僕が惡うございました、此上は朝鮮へ行つてお父樣の御病氣を見舞つて參り度いのですが、其の旅費を頂くことが出來無いでせうか』

『朝鮮へ行つて來る？』

小首を捻つて考へて居た二階堂伯は。

『好しッ行つて來なさい、藤村侯爵と懇子と二人切りで行つたのはヒョッとしたら遺言狀の作製に！』

口まで出たのを嚙み殺した後。

『さア是れを持つて少しも早く行きなさい、病氣の輕重は知らんが早い方が宜い』と、云つて十圓を十枚ばかり渡した。

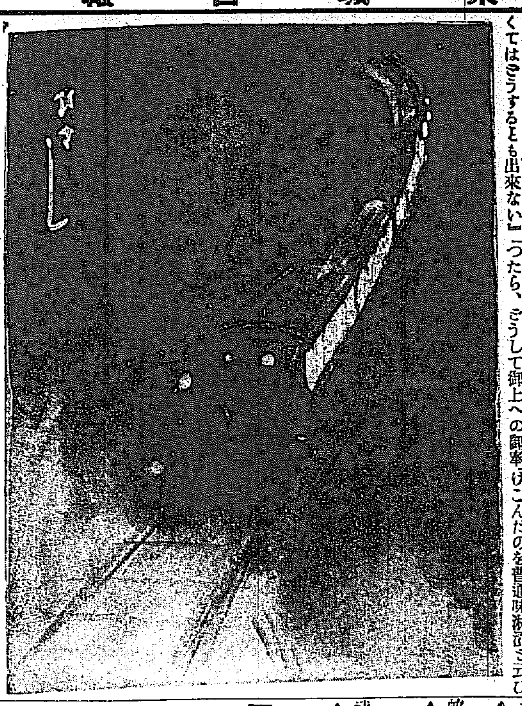
『ア……難有う御座います』

龍雄は夫を押し頂いて嬉し涙を流した。

『俺が途中まで見送つて遣るから直ぐに出發なさい』

龍雄は天にも昇る心地で喜んだ、老伯が非常に賛成をして呉れたから、歡天喜地の思ひをして直ちに品川驛から西下の客となつた。

寸前尺魔！身には大難が追つて居るが神ならぬ身の知る由も無く、直ちに朝鮮行の客となつた。見送る老伯も送られる龍雄も品川驛を涙で別れた。



辣韮の漬け方

辣韮は必ず一度鹽水に漬けそして重く無い壓石をしまして、水が湧き出た頃に壓石を取つて鹽と酢の加減をして目ばりをしそのまゝ一二年おきなさい、斯うすれば天然の味淋漬となります、それから初めて鹽漬をする時に海水を用ふると大さうよいと云ふことです、分量は辣韮一貫目に鹽一百目水一升の割合でよろしく、また辣韮一貫目に味淋五合、酢五合、砂糖百五十匁の分量で漬けこんだのを普通味淋漬と云ひます、これは酢を鍋に入れて煮立て味淋を加へ砂糖を入れたら直おろし冷ねてから漬るのです

日報歌壇

夏深み

□ 美沙而てふじ(京城)

こやりゐの淋しき日かも枕べの花の白さにしたしみにけり

しみ／＼とうつしわが身の寂しさか思ふ頃かも水無月に入る

遠方にて住める病めば日は人をこそわきても偲べうら寂しきに

はしきやし子はあらなくにこやりゐの寂しきものか花も散りゆく

夏ふかみ久にこやればうつそみの我に親しき花の色かも

□ 河野節夫(天安)

夕やけの空はあかけれ青葉風今しそよに窓ゆ入り來し

いれがてにずきまた戸を操ればたゝなはる青葉かくりに灯し火の見ゆ

やみれちゆ夜汽車の笛のなり／＼にきこゆ來るかも森のしゞまに

たゝなはる山膚ゆけば咲たけて其の奥どころ李舜臣の墓

水軍の節度使むる土の塚いくよさなくのべしのびつきせず佇めば山また青山のねむり見ゆも

塚のなか一つの高き石碑にきざみしいさをしみしましに

京城本町二丁目
野田時計舖
(電話二八七四番)

日報俳壇

◎千可居小集句錄

工女達の夜の樹々の茂り立ちける　芹郎

忍けん六月の闇傘匂ふ傘をさし

麥穗傾き易く語らひ日沒を北月にす

夏めく草木の朝は葉の動きまさるなり

夏めく傘ひろげ雨は見へず雨の音す

◎　金剛城

夜の蠅取瓶押しつけ家内中氣強し

此夜際もと蚊帳の鈎手を絞つた

へだてなく蚊帳に入り君との話

妙話が合ふ蚊帳かりそめの如し

◎　眞彼

社宅の原壁が決算前で廣ばかりぞ

仕事仕上た水店の明い食卓の君たち

水店の女が頷出して雨少し降つてる

若い職人に眞面目の夜の星を仰ぎ

夏夜の部屋の灯で庭が青々とする

◎　千可良

曉の風ねまきの胸を合せゆく雹

別れの挨拶仕直してつぶらな苺

苺つぶら雨あがりゆく

むだ花にもせよ庭畑に花もつ茄子

言葉一つ二つ發つ浴衣の淋し

日報柳壇

蚊

穴の有蠅を質屋で出して來る　千尾

▲評　いくらか人生が見ねてゐるが、まだ／＼足りない、こんなことでは貧弱だ。

立聞きの尻を蚊が蚊がとて行き　高峯

▲評　かうよめば蚊蚊が活きて來る、川柳たる價値がある。

蚊帳の中二人の顏が青白い　御華

▲評　蚊帳の青さが偽め、といふのは非貸ての青白いのを見たのは作者の客観に似た主觀。

武者修行蚊の食ふ顏(一同)　同

▲評　よくまとまつてゐる

知識の泉

(高島平三郎監修) 世界の變局に處して國體の精華を發揮し、よく宇內の大勢に順應せんとせば先づ世界的の新知識を受容して機宜の方策を講ぜざる可らず、本書は此目的により新知識を一般に普及せんが爲め通俗平易を旨とし興味多きものを蒐集せり、學校、家庭、青年團體等の必讀を要する好著なり、內容は修養、理化學地理、歷史、實業、經濟等の部門に分たれ數百篇の小話を收む(四六版三百餘頁、一圓五十錢東京市麹町區平河町洛陽堂)

お伽旅行　はるびんまで

(大井冷光著) 先年の夏愛らしい少年少女の爲め朝鮮を經て滿洲哈爾賓迄お伽旅行をしたお伽噺の大家大井冷光おぢさんが其旅行から得た印象や出來事それに各地の童話傳説等を面白く書いた「お伽旅行はるびんまで」といふ美しくて可愛らしい本を東京玄文社から發行した、山陽線の車中でまあちやんと云ふ少女のお友達が出來た事から鮮滿各地の人情風俗がよく書き現はされて居る殊に子供に温い同情をもつたおぢさんの心が全編に溢れて居る事が何よりも嬉しい、少年少女の好讀物である是非一讀をお勸めする(六十五錢東京市芝公園玄文社)

▼中外新論(七月號) 夏期擴大號なり、主なる記事は官海游泳の眞髓(小松固南)社會主義研究の流行と其批判(三井甲之)製絲女工の待遇問題(川島正次郎)國民思想の基礎としての宗教(各宗教家)造化とお百(村松梢風)等あり(五十錢東京市芝區愛宕下町二の二中外新論社)

▼改造(七月增大號) 勞働問題社會主義批判號と題し、勞働問題批判には福田德三、安部磯雄、河津暹、河田嗣郎、阿部次郎、桑田熊藏氏等の所説あり、又た社會主義批判には賀川豐彦、戶田海市、田島錦治、田中華一郎、阿部秀助氏以下の説を收め創作欄には愛國者(武者小路實篤)愛國者(上司小劍)先に行つた友達(小川未明)職業紹介所等あり(中村吉藏)母の立ち場(岩野泡鳴)(五十五錢東京市芝區愛宕下町二四六改造社)

人生(大町桂月、丸山晩霞、萩野博士)鳴雄と萩野(敬氏)情話趣妃のは支那(長田秀雄)等あり(五十錢東京市芝區愛宕下町二の二中外新論社)

新刊紹介

▼本工商開業案內(石井研堂) 比較的資本少く無經驗なる者が新たに或る營業を開始せんとする手引きとも云ふべく呉服太物店其他携帶屋に至るまで種類七十餘の小資業小工業を共道々の老練家に意見を質して叮嚀親切に資本營業法等を説き尚ほ問屋をも詳記せり、卷末に市內內職一覽表を掲げ工賃、一日の仕上貨、請負者住所氏名を採錄し便利重寶なること此上無し、時節柄此種の出版は一般に歡迎せらるべしと信ず(一圓二十錢東京市日本橋區本町博文館)

▼我等　七月號 社説に「米價問題の再發」「支那の共產主義宣傳」安全週間と都市改良あり現代議院政治の試金石(大山郁夫)產業的平和の基礎(北澤新次郎)は見るべく大山氏の海內及海外如是閑氏の傾向及批判並に山川女史の女の立場よりは本誌獨特のものとして必讀すべき者也(卅錢東京市神田錦倉町我等社)

▼新聞研究(第二號) 結城氏の「新聞局設立の急務」を初め不破瑳磨太氏の「日本で發行される外字新聞等の外」佐藤氏「米國新聞記者の活躍振り」「新聞に關する新刊洋書」の紹介其他新聞に關する報道的研究的記事を滿載す(非賣品、東京市芝公園玄文社)

▼みつこし(百七十三號) 本號特別號にして海に關する諸家の感想、記行文及作品を載す鼎のプルタニユ思出、武男のベニスの海陸德の記事あり邦三のフランシスコ、デ、ゴヤの評論は興味あるもの原色版及寫版に武男、工志、陸德、鼎の作品を掲ぐ(本號五十錢東京小石川區關口駒井町三春良舍)

▼世界お伽噺(嚴谷小波編) 小波山人のお伽噺を美しき小さな一冊に纏めたもの、本篇は其六集に當る。小波山人のお伽噺の興多きは世既に定評あり、本編には乞食の強言、逆探し、九羽鳥、南北大、鷄の卵、ガラ／＼蛇、惡橋、森の女、鰹モア、鬼妻、光の劍、繩引の力、袋股の術、目潰の法、娘の知謎「三つの顏」神試し、飛行機、兎の眼、九重の塔、變身術、奇蹟のランプ、木馬物語り等世界各國の清新なるお伽噺を集めたり(四十錢東京市日本橋區本町三丁目博文館)

讀者の領分

△御近所の方には甚だ御迷惑だが僕は夏は東窓の風通しの善い場所冬は暖きストーブの傍か[illegible]に向けて半長寢を大好きだ亦誰にも嫌はれ極め込む性質は直らぬことを許かつて居る何か善い附け藥はあるまいか(阿呆散士)

△新進歌人、品歌人等の人々の説は偏りに粉飾した、成程其所に氏の歌は瀬い所がある、代つてこれてゐる所がある、けれ共決して惡い歌、もしくは歌壇の不法に引き出して騒ぐす可き程の不眞面目な歌ではない、すら／＼淀みなく色をつけて相當に味をつけて[illegible]ればたらぬ、[illegible]言つてゐる[illegible]光のごと良く似てゐる事は否まれぬ[illegible]

△(平なしよう平)嗚呼夏の南大門通りの午後は砂塵の巷と化し咽んで日も口も明けられず彼の一臺の撒水馬車は何故比較的無風の早朝一二回の撒水にて午後は其姿を眠はさざるや且つ其の態度の緩慢に至ること恰も娑子の御者然たり撒水するなれば午後二三時より始めては如何又電車の横着なる如何にも撒水致し候さ云はん許りに空罐の撒水車を運轉するは唯申譯的の行動なり今一つ尤も癪なるは自動車の走り余は明案を提出せん泰々自動車の如きは富者の乘用に付き撒水税としうんと高率の税金を課し自動車の通行する市街には是非一臺の自動撒水車の備へ一方非常用とし使用しては如何此れか爲めの費用は自動車を持つ者の負擔とするは一舉兩得なりと思考す(太郎冠者)

ミツワ石鹸

○ミツワ石鹸　大形 定價一個 金二十五錢　中形 定價一個 金十八錢　小形 定價一個 金十二錢　極小形 定價一個 金六錢

ミツワの商標を付せる製品は、品質純良にして、代表的のものたることは定評あり。ミツワ石鹸は實に國產石鹸を代表するものにして、其品質の優良無比なること、殊に皮膚毛髮の美的嗜好に差異ある本邦人の化粧用石鹸として、其目的に適すべきものは、此ミツワ石鹸を措いて、他に之を求むること難し、毫も刺戟を感ずる虞なく、細かき泡沫を生じ適度の溶解性を備へ、能く水にも溶解して、而も浴室に用ひて、絶對に半途に溶け崩るゝ憂なき等、本品の特徴にして、浴室化粧用として衛生經濟に合致せる理想的實用品なり。

○特製ミツワ石鹸　赤箱　定價一個 金四十錢

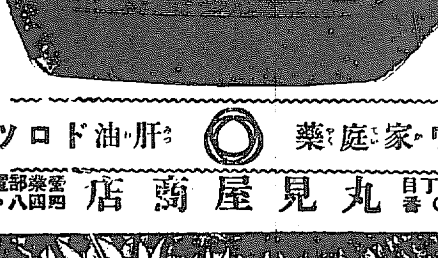
ミツワ石鹸と品質毫も異なることなく優良至純にして、皮脂の分泌最も多く而も鋭敏なる本邦人の皮膚及漆黑を尊ぶ毛髮の洗滌に適し、殊に特殊の芳香を加味せるが故に、爽快の感は得られ、又半途に溶け崩るゝ憂なきを以て、浴室化粧用たるべきものなり、包裝に赤箱を用ふるが爲、普通赤箱と稱せられて、普く江湖に推賞せらるゝ完全なる優良石鹸なり。

○特製ミツワ芳香石鹸　平香 金三十五錢　平香 金二十五錢　百香 金貮圓

ミツワ石鹸及特製ミツワ石鹸(赤箱)の品質純良にして、化粧用石鹸として最良好適なるが如く、本品も亦同じく純正無比の品質を有せり、然して其特徴とする所は、煉製品なるを以て溶解頗る速にして、化粧浴用に最も適合し、殊に郁烈なる芳香料を加味せるを以て、芳氣馥郁として使用後も餘香殘存して心氣淸爽たることを得るものなり、最新の學理と實驗とを基礎として提供せる最も完全なる煉製芳香石鹸なり。

○ミツワ洗濯石鹸　大形 定價一個 金十五錢　小形 一個 金八錢

洗濯石鹸と云へば、多くは粗製品にして、眞に洗濯の目的に適するもの甚少なり、洗濯石鹸は粗製品なりと云ふ誤解を去るべく、且つ實用經濟に合して、洗濯の意義に適することを目的として、提供されたるものにして、綿布毛織物を洗ひ絹布を濯ぐも、毫も地質を傷むることなく、能く汚垢を落して、雪白ならしむると共に、染色益々鮮明ならしむるものにして、而も從來の如く揉み擦つて洗ふ必要なく、簡易なる特殊のミツワ洗濯法に依りて、手數と時間とを省略し得るものにして、一般の家庭用及工場用として最も理想的の洗濯石鹸なり。



ミツワ家庭藥　肝油ドロップス

東京市日本橋區橘町四丁目　丸見屋商店　振替東京七一〇番　營業部電話浪花三〇・四四八・四四九・四五〇番

溜飲＝惡心の時は

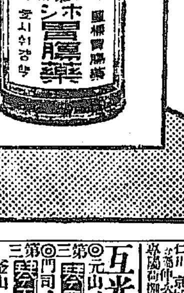
ホシ胃腸藥を用ひよ

胸開き氣分爽快となる

胃病良藥　ホシ胃腸藥

ホシ胃腸藥は規模の宏大設備の完全なること東洋第一なる星製藥株式會社の工場に於て醫學者及藥學者の合理的研究に成り、職密精確に調劑せらるゝが故に効能最も的確なり

定價 壹圓 五十錢 二十錢　各地特約藥店にて販賣す



東京京橋南傳馬町　星製藥株式會社

尼崎汽船出帆

阪神木浦下ノ關大阪行(仁川出帆)

△赤心丸 七月[illegible]日後四時
△一心丸 七月[illegible]日後四時
△神代丸 七月[illegible]日後四時
△秀吉丸 七月[illegible]日後四時
△君が代丸 七月[illegible]日後四時
△大有丸 七月[illegible]日後四時
○第一運輸丸

○印 二等船客無　△印 船客御斷

仁川海岸通二丁目(電話五九番)　高杉回漕部

大阪商船汽船出帆

(仁川出帆) 大阪行　△安東丸 七月四日正午出　△信濃川丸 七月[illegible]日正午出

(元山出帆) 浦潮行　△須磨丸 七月九日後十二時　釜山、門司、宇品、神戶、大阪行　△須磨丸 七月十五日後九時出

(大連出帆) 上海、基隆、打狗行　●基隆丸 七月十一日前六時出　●湖北丸 七月[illegible]日後六時出

內地各港出帆主要航路　歐洲行 一年四回　北米行 每月一回　南米行 一年四回　孟買行 每月一回　濠洲行 每月一回　南洋行 每月一回

御注意　外國航路乘船の時は[illegible]

大阪商船株式會社仁川支店　電話二二〇番 五五〇番

五光商會汽船出帆廣告

◎第三慶興丸 七月[illegible]日 元山、西湖、城津、清津行
◎第三釜山丸 七月[illegible]日 門司、宇品、神戶、大阪行

釜山 大池回漕部(電話[illegible])　元山 田口回漕店

京城 內國通運合資會社支店　仁川 [illegible]

朝鮮郵船出帆

▲敦賀行(淸津、城津、元山經由)　平安丸 七月七日 淸津發　七月十一日 元山發

▲浦汐行(城津、淸津經由)　越後丸 七月十三日 釜山發　七月十五日 元山發

▲雄基行(咸北各港經由)　平壤丸 七月十日 釜山發　七月十三日 元山發　咸鏡丸 七月十八日 元山發

▲元山雄基線(元山雄基間往復)　鏡城丸 七月十日 元山發

▲大阪行(淸津、城津、元山、釜山、關門、神戶經由)　忠淸丸 七月十九日 元山發　七月二十一日 釜山發

▲關門行(雄基、淸津、城津、元山各港經由)　雄基丸 七月十六日 元山發　七月十九日 釜山發　京畿丸 七月十一日 元山發　七月十四日 釜山發

▲鬱陵島行(釜山發浦項及各地經由)　盈德丸 七月十三日 釜山發

▲釜山浦項線 釜山浦項相互ヨリ每日一回

▲濟州島行(釜山發)　昌平丸 七月九日 釜山發

▲濟州島行(木浦發)　東廻 公州丸 七月十三日　西廻 慶興丸 七月十五日 木浦發

▲釜山麗水線 釜山麗水相互ヨリ每日一回出發

▲木浦麗水線(釜山行麗水ニテ接續)　順天丸 七月十日 木浦發

▲多島海行(木浦發多島海各島)　慶興丸 七月[illegible]日 木浦發

▲木浦行(仁川發各地經由)　江田島 七月十一日 仁川發

▲海州行 仁川海州相互ヨリ每日一回出帆

▲鎭南浦行(仁川發各港經由)　晉州丸 七月十日 仁川發

▲大連青島行(仁川發芝罘經由)　江原丸 七月[illegible]日 仁川發

○朝鮮沿岸及社外船ト荷客連絡アリ

本社 京城南大門通(電話長一九五二・一二三)
釜山支店 釜山佐藤町
元山出張所 元山海岸通
仁川代理店 堀回漕部
木浦代理店 山野回漕部
京城荷客取扱店 京城南大門驛前 松原運送店
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ　電話長一一〇七